

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-98022

(P2007-98022A)

(43) 公開日 平成19年4月19日(2007.4.19)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 F 5/453 (2006.01)	A 6 1 F 5/453	3 B 1 2 8
A 4 1 B 9/02 (2006.01)	A 4 1 B 9/02 P	3 B 2 0 0
A 4 1 B 9/12 (2006.01)	A 4 1 B 9/12 E	4 C 0 9 8
A 6 1 F 13/15 (2006.01)	A 4 1 B 13/02 R	
A 6 1 F 13/49 (2006.01)	A 4 1 B 13/02 H	
審査請求 未請求 請求項の数 13 O L (全 50 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2005-295215 (P2005-295215)	(71) 出願人	592034744
(22) 出願日	平成17年10月7日 (2005. 10. 7)		株式会社日本吸収体技術研究所
			東京都中央区日本橋浜町2丁目26番5号
		(74) 代理人	100067323
			弁理士 西村 敦光
		(74) 代理人	100124268
			弁理士 鈴木 典行
		(72) 発明者	安藤 勝己
			東京都中央区日本橋浜町2-26-5 株
			式会社日本吸収体技術研究所内
		(72) 発明者	鈴木 磨
			東京都中央区日本橋浜町2-26-5 株
			式会社日本吸収体技術研究所内
		Fターム(参考)	3B128 EA04 EB13 EB14 EB15 EB16
			EB23 EB26 EC08 EC16 KA02
			最終頁に続く

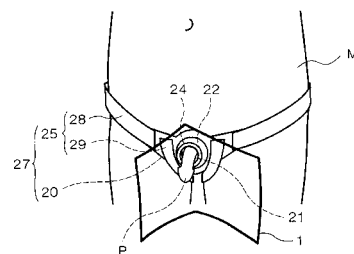
(54) 【発明の名称】 男性用吸収体製品の装着具及び装着ユニットならびに男性用体液処理用品

(57) 【要約】

【課題】寝たきりの状態や車椅子に座った状態にあるお年寄りや障害者に対して、ペニスを差し込んで使用する袋状の吸収体製品を、液漏れなく安全確実に装着し、容易に交換できるようにすること。

【解決手段】装着ユニット27は、着用者のペニスPが貫通するように取り付けられる挿入孔21を備えた装着具20と、装着具20に連結されて装着具を着用者の下腹部に取り付ける腰帯28及び股下に回されて装着具に結合される固定帯29からなる装着帯25とを有する。吸収体製品1の挿入部にペニスを挿入し、挿入部を装着具の挿入孔の近傍の結合部24に固定すれば、吸収体製品を安定して着用者に装着でき、交換も容易である。

【選択図】 図9



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

体液の吸収体を有する袋体にペニスを挿入する挿入部が設けられた吸収体製品を着用者に装着するために用いられる装着具において、

前記着用者に対して着脱可能に取り付けるために前記着用者のペニスが貫通する挿入孔と、前記吸収体製品の前記挿入部が着脱可能に取り付けられる結合部とを備えた基体を有することを特徴とする装着具。

【請求項 2】

前記基体は環状であり、前記結合部は、前記基体の前記挿入孔と前記吸収体製品の前記挿入部とを連通させるように前記挿入孔の近傍に設けられた結合手段としての面ファスナーと係止構造の少なくともいずれか一方であることを特徴とする請求項 1 記載の装着具。

【請求項 3】

前記基体には、前記挿入孔に挿入された前記着用者のペニスの外周面に密着する可撓性を備えた周状のシール片が設けられたことを特徴とする請求項 2 記載の装着具。

【請求項 4】

前記結合手段としての面ファスナーは、前記吸収体製品の前記袋体の内側に貼着することにより前記基体を前記挿入部に挿入した状態に保持し、

前記結合手段としての係止構造は、前記吸収体製品の前記挿入部が係止することにより前記基体を前記挿入部に挿入した状態に保持することを特徴とする請求項 2 記載の装着具。

【請求項 5】

前記基体には、前記挿入孔の周縁に前記着用者の身体に接触するシール部が設けられていることを特徴とする請求項 2 記載の装着具。

【請求項 6】

体液の吸収体を有する袋体にペニスを挿入する挿入部が設けられた吸収体製品を着用者に装着するために用いられる装着ユニットにおいて、

前記着用者に対して着脱可能に取り付けるために前記着用者のペニスが貫通する挿入孔と、前記吸収体製品の前記挿入部が着脱可能に取り付けられる結合部とを備えた基体を有する装着具と、

前記装着具に端部が結合されて前記装着具を装着する前記着用者の下半身に巻装され、前記着用者が装着した前記装着具を保持する装着帯と、

を有することを特徴とする装着ユニット。

【請求項 7】

前記装着具には、前記基体と一体に設けられて外方に延設されたウイングが設けられており、前記装着帯の端部は前記ウイングに設けられた連結部において前記装着具に連結されていることを特徴とする請求項 6 記載の装着ユニット。

【請求項 8】

前記ウイングは、少なくとも左右一対で設けられており、左右一対で設けられた前記ウイングは前記着用者の鼠蹊部と干渉しないように各々水平方向よりも上方に傾斜して配置されていることを特徴とする請求項 7 記載の装着ユニット。

【請求項 9】

前記ウイングに孔部が形成されていることを特徴とする請求項 7 記載の装着ユニット。

【請求項 10】

前記ウイングには、前記着用者の身体に接触する裏面に前記着用者の肌の蒸れを防止するための凹凸が設けられていることを特徴とする請求項 7 記載の装着ユニット。

【請求項 11】

前記装着帯は、前記着用者の腰に巻装するとともに、その両端が前記装着具の前記ウイングに前記連結部を介して連結されている腰帯であることを特徴とする請求項 7 記載の装着ユニット。

【請求項 12】

10

20

30

40

50

前記装着帯は、前記着用者の腰に巻装される腰帯と、前記腰帯に一端が結合されて他端が前記装着具の前記ウイングに前記連結部を介して連結される固定帯であることを特徴とする請求項7記載の装着ユニット。

【請求項13】

体液の吸収体を有する袋体に着用者のペニスを挿入する挿入部が設けられた吸収体製品と、

前記着用者に対して着脱可能に取り付けるために前記着用者のペニスが貫通する挿入孔と、前記吸収体製品の前記挿入部が着脱可能に取り付けられる結合部とを備えた基体を有する装着具と、

前記装着具に端部が結合されて前記装着具を装着する前記着用者の下半身に巻装され、前記着用者が装着した前記装着具を保持する装着帯と、

を有することを特徴とする男性用体液処理用品。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、吸収体が設けられた袋体内にペニスを挿入して使用する男性用の吸収体製品を着用する際に有用な装着具及び装着ユニット、ならびに前記吸収体製品と前記装着ユニットの結合からなる男性用体液処理用品に関するものである。

本発明によれば、着用者の体位が様々に変わっても、前記吸収体製品の着用が簡単かつ確実であるとともに好適な装着状態を維持でき、しかも吸収体製品の交換も簡単であるために寝たきりの人や車椅子利用者にも容易に適用することができる。

【背景技術】

【0002】

従来の吸収体物品、例えばおむつ、大人用おむつ、女性用生理用品、女性用失禁用品等は、ナプキン形状であれ、テープ型形状であれ、あるいはパンツ型形状を持つものであれ、共通している構造は、液透過性トップシートと、液不透過性のバックシートとの間に、SAPとパルプを混合した吸収体を介在させるという基本構造を持っている。

【0003】

これらの吸収体製品のうち、男性用体液処理用品は、男性である着用者の体液排出はペニスを通じてを行うことが前提となるので、かかる人体の構造上の特徴に適した構造を有していることが必要とされる。このような男性用体液処理用品としては、下記特許文献1、2に示すように、吸収体を備えた袋部にペニス挿入口が形成された吸収体物品が知られている。

【特許文献1】特開平11-172502号公報

【特許文献2】特開2004-65857号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

前述した従来の男性用体液処理用品は、立って歩き回るだけの健康状態にある人が自分で装着して使用することを前提としたものであって、袋部の挿入口からペニスを挿入し、下着の前身頃内で適正な位置に配置してやるだけで直ちに使用に供することができるので、特に男性用体液処理用品を身体に確実に固定するための治具等は必要としなかった。しかしながら、これを寝たきりの状態や車椅子に座った状態にあるお年寄りや障害者に用いようとする、液漏れしない安全確実な装着が困難になり、また頻繁な交換が介助者の負担になるという問題があった。

【0005】

本発明は、上述した課題を解決するためになされたものであり、寝たきりの状態や車椅子に座った状態にあるお年寄りや障害者に対して、ペニスを差し込んで使用する袋状の吸収体製品を、寝たきりの状態や車椅子に座った状態のままで液漏れなく安全確実に装着し、また容易に交換することができるようにすることを目的としている。

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】

【0006】

請求項1に記載された装着具は、体液の吸収体を有する袋体にペニスを挿入する挿入部が設けられた吸収体製品を着用者に装着するために用いられる装着具において、

前記着用者に対して着脱可能に取り付けるために前記着用者のペニスが貫通する挿入孔と、前記吸収体製品の前記挿入部が着脱可能に取り付けられる結合部とを備えた基体を有することを特徴としている。

【0007】

請求項2に記載された装着具は、請求項1記載の装着具において、

前記基体は環状であり、前記結合部は、前記基体の前記挿入孔と前記吸収体製品の前記挿入部とを連通させるように前記挿入孔の近傍に設けられた結合手段としての面ファスナーと係止構造の少なくともいずれか一方であることを特徴としている。

【0008】

請求項3に記載された装着具は、請求項2記載の装着具において、前記基体には、前記挿入孔に挿入された前記着用者のペニスの外周面に密着する可撓性を備えた周状のシール片が設けられたことを特徴としている。

【0009】

請求項4に記載された装着具は、請求項2記載の装着具において、

前記結合手段としての面ファスナーは、前記吸収体製品の前記袋体の内側に貼着することにより前記基体を前記挿入部に挿入した状態に保持し、

前記結合手段としての係止構造は、前記吸収体製品の前記挿入部が係止することにより前記基体を前記挿入部に挿入した状態に保持することを特徴としている。

なお、基体側に係止構造を設ける場合は、吸収体製品の挿入部に結束用の紐体等を設け、係止構造に袋体の挿入部を引っ掛けて引き縛ることで袋体を装着具に結合してもよいし、又は挿入部の周囲に弾性体を設け、弾性体を引き伸ばして基体を挿入部を引っ掛け、弾性体を縮退させることにより袋体を装着具に結合してもよい。

【0010】

請求項5に記載された装着具は、請求項2記載の装着具において、前記基体には、前記挿入孔の周縁に前記着用者の身体に接触するシール部が設けられていることを特徴としている。

【0011】

請求項6に記載された装着ユニットは、

体液の吸収体を有する袋体にペニスを挿入する挿入部が設けられた吸収体製品を着用者に装着するために用いられる装着ユニットにおいて、

前記着用者に対して着脱可能に取り付けるために前記着用者のペニスが貫通する挿入孔と、前記吸収体製品の前記挿入部が着脱可能に取り付けられる結合部とを備えた基体を有する装着具と、

前記装着具に端部が結合されて前記装着具を装着する前記着用者の下半身に巻装され、前記着用者が装着した前記装着具を保持する装着帯と、

を有することを特徴としている。

【0012】

請求項7に記載された装着ユニットは、請求項6記載の装着ユニットにおいて、

前記装着具には、前記基体と一体に設けられて外方に延設されたウイングが設けられており、前記装着帯の端部は前記ウイングに設けられた連結部において前記装着具に連結されていることを特徴としている。

【0013】

請求項8に記載された装着ユニットは、請求項7記載の装着ユニットにおいて、

前記ウイングは、少なくとも左右一対で設けられており、左右一対で設けられた前記ウイングは前記着用者の鼠蹊部と干渉しないように各々水平方向よりも上方に傾斜して配置されていることを特徴としている。

10

20

30

40

50

【0014】

請求項9に記載された装着ユニットは、請求項7記載の装着ユニットにおいて、前記ウイングには孔部が形成されていることを特徴としている。

【0015】

請求項10に記載された装着ユニットは、請求項7記載の装着ユニットにおいて、前記ウイングには、前記着用者の身体に接触する裏面に前記着用者の肌の蒸れを防止するための凹凸が設けられていることを特徴としている。

【0016】

請求項11に記載された装着ユニットは、請求項7記載の装着ユニットにおいて、前記装着帯は、前記着用者の腰に巻装するとともに、その両端が前記装着具の前記ウイングに前記連結部を介して連結されている腰帯であることを特徴としている。 10

【0017】

請求項12に記載された装着ユニットは、請求項7記載の装着ユニットにおいて、前記装着帯は、前記着用者の腰に巻装される腰帯と、前記腰帯に一端が結合されて他端が前記装着具の前記ウイングに前記連結部を介して連結される固定帯であることを特徴としている。

【0018】

請求項13に記載された男性用体液処理用品は、
体液の吸収体を有する袋体に着用者のペニスを挿入する挿入部が設けられた吸収体製品と、
前記着用者に対して着脱可能に取り付けるために前記着用者のペニスが貫通する挿入孔と、前記吸収体製品の前記挿入部が着脱可能に取り付けられる結合部とを備えた基体を有する装着具と、
前記装着具に端部が結合されて前記装着具を装着する前記着用者の下半身に巻装され、前記着用者が装着した前記装着具を保持する装着帯と、
を有することを特徴としている。 20

【発明の効果】

【0019】

請求項1に記載された本発明に係る装着具によれば、着用者の身体（ペニス）に基体を確実に取り付けることができるので、吸収体製品の挿入部からペニスを挿入して該挿入部を基体の結合部に結合すれば、吸収体製品の着用者の身体に対する取付けが確実に行え、使用中の脱落やずれが生じにくいので液漏れをうまく防止できる。また、着用者が寝たきりの状態や車椅子に座った状態であっても、吸収体製品の着脱は着用者の身体自体に対して直接行うのではなく、身体に取付けた基体に対して行うので、作業がしやすく、取付け状態も確実に安定している。 30

【0020】

請求項2に記載された装着具によれば、環状の基体はペニスに対する装着が確実に外れにくく、挿入孔の近傍に設けられた結合手段（面ファスナー又は係止構造の少なくともいずれか一方）によって吸収体製品と挿入部を漏れなく連通させることができる。

【0021】

請求項3に記載された装着具によれば、基体の挿入孔の内部に設けられたシール片が挿入したペニスの外周面に接触して漏れ防止の弁として機能するので、液漏れの危険性がさらに低くなる。 40

【0022】

請求項4に記載された装着具によれば、基体と吸収体製品は、基体側に設けられた面ファスナー又は係止構造（又はその両方）により確実に結合されるので、一旦装着した吸収体製品は脱落しにくく、液漏れしにくい。

【0023】

請求項5に記載された装着具によれば、基体の挿入孔の周縁に設けたシール部が、装着時には着用者の身体に当接・接触するので、挿入口に挿入されたペニスの根本を全周にわ 50

たってシールし、液漏れを防止する。

【0024】

請求項6に記載された本発明に係る装着ユニットによれば、着用者の身体（ペニス）に装着具の基体を確実に取り付け、さらにこの装着具を装着帯によって着用者の腰廻りに確実に保持させることができるので、吸収体製品の挿入部からペニスを挿入して該挿入部を基体の結合部に結合すれば、吸収体製品の着用者の身体に対する取付けが一層確実にい、使用中の脱落や液漏れは一層生じにくい。また、着用者が寝たきりの状態であっても、吸収体製品の着脱は着用者の身体自体に対して直接行うのではなく、身体に取付けて装着帯で保持された装着具の基体に対して行うので、作業がしやすく、取付け状態も確実に安定している。また、着用者が寝たきりの状態であっても、装着帯を腰に巻装する操作が容易に行えるように構成することもできる。 10

【0025】

請求項7に記載された装着ユニットによれば、装着具に設けられたウイングの連結部に装着帯が連結されており、装着帯と装着具を連結させる操作が容易であり、装着帯による装着具の保持も安定する。

【0026】

請求項8に記載された装着ユニットによれば、左右一对のウイングが各々水平方向よりも上方に傾斜して配置されているので、ウイングが前記着用者の鼠蹊部と干渉せず、着用者の着用感が向上し、使用時の装着のずれ・液漏れも防止される。

【0027】

請求項9に記載された装着ユニットによれば、ウイングに孔部が形成されているので、着用者の肌の蒸れが防止され、又は孔部が設けられたウイングの位置によっては着用者の睾丸を逃がして着用時に睾丸に無用な圧力が加わらないようにできるので、装着感が一層向上する。 20

【0028】

請求項10に記載された装着ユニットによれば、着用者の身体に接触するウイングの裏面に凹凸が設けられているので、着用者の肌の蒸れが防止されて装着感が一層向上する。

【0029】

請求項11に記載された装着ユニットによれば、着用者の腰に巻装された腰帯の両端を装着具のウイングを直接連結しているので、簡素な構成で装着具を直接確実に所定位置に保持させることができる。 30

【0030】

請求項12に記載された装着ユニットによれば、着用者の腰に腰帯を巻装し、腰帯に設けた固定帯を装着具に連結して吊り下げるように保持するので、装着具を安定かつ確実に所定位置に保持させることができる。

【0031】

請求項13に記載された本発明に係る男性用体液処理用品によれば、着用者の身体（ペニス）に装着具の基体を確実に取り付け、さらにこの装着具を装着帯によって着用者の腰廻りに確実に保持させることができるので、吸収体製品の挿入部からペニスを挿入して該挿入部を基体の結合部に結合すれば、吸収体製品の着用者の身体に対する取付けが一層確実にい、使用中の脱落や液漏れは一層生じにくい。また、着用者が寝たきりの状態であっても、吸収体製品の着脱は着用者の身体自体に対して直接行うのではなく、身体に取付けて装着帯で保持された装着具の基体に対して行うので、作業がしやすく、取付け状態も確実に安定している。 40

【発明を実施するための最良の形態】

【0032】

次に、本願発明における最良の実施形態（以下本例とも呼ぶ）を説明する。

本例は、内部に吸収体が収納された袋体を有し、その袋体に設けられた挿入孔からペニスを挿入して尿等の処理に供される男性用の吸収体製品を好適な状態で着用者に装着するための使用補助具に関係する。具体的には、この袋状の吸収体製品を、液漏れしない装着 50

確実な状態かつ容易に交換しうるような状態でペニスに取付けられるようにペニスに装着される装着具に関し、さらにこの装着具及び着用者の下半身に装着する装着帯からなる装着ユニットと、この装着ユニットと前記吸収体製品を含めた男性用体液処理用品とに関するものである。

以下、吸収体製品、装着具、装着ユニット及び男性用体液処理用品、装着具の変形例、装着ユニットを構成する装着帯の変形例等につき、各項目ごとにそれぞれ図面を参照して詳細に説明する。

なお、以下に開示する装着具、装着帯等の説明においては、変形例が多様であり、構造が同一でないものについてすべて異なる参照符号を付すことによる煩雑を回避するため、原則として発明を構成する要素として同等の機能を有する部分については同一の参照符号を付し、必要に応じてアルファベットの添え字を付して必要な区別を行うものとする。 10

【0033】

(1) 吸収体製品の構造例 (図1～図4)

図1～図4に示す本例の吸収体製品1 (以下、本製品1とも呼ぶ) は、男性の着用者が下腹部に身につけ、内部に尿等の体液の吸収体3を設けた袋体2の開口 (スリット) である挿入部4からペニスを挿入して使用する衛生用品である。

【0034】

本製品1は、不織布に樹脂製フィルムを圧着して構成した薄い防漏性シート材料からなる袋体2を有している。この袋体2は、前記防漏性シート材料の不織布を外側として使用し、図1及び図2に示すように前面側 (着用者側) 及び背面側から見て全体として図中上方を尖端として左右に張り出した矢羽根形状 (略逆V字形) となるように、かつ全体としては内部空間を有する袋状となるように、その外周縁に沿って圧着して袋状に形成したものである。 20

【0035】

この袋体2は、中央部の空間がペニス格納部5とされており、その前面側 (着用者側) に形成された縦に長いスリットがペニスの挿入部4である。図示の挿入部4は縦に長い楕円形であるが、後述するように縦長の矩形でもよいし、縦長の三角形でもよい。また、場合によっては横長であってもよい。

【0036】

このペニス格納部5の両側は、ペニス格納部5にそれぞれ連通する第1吸収部6とされており、また袋体2の背面側には、ペニス格納部5の両側において、第1吸収部6及びペニス格納部5に連通する別空間である第2吸収部7が内側への折り返し部8を介してそれぞれ形成されている。なお、使用時にこの折り返し部分8が伸張すれば袋体2の内部空間は拡大される。 30

【0037】

これら第1及び第2吸収部6, 7内には、体液を吸収するための高分子吸収体シート3がそれぞれ設けられている。さらに、第1吸収部6、第2吸収部7、ペニス格納部5の間には、これらの各部の間で体液の移動を容易にするための液体ガイド層9が設けられており、ペニス格納部5に一時に大量の体液が排出された場合には、この液体ガイド層9を介して体液は左右の第1吸収部6及び第2吸収部7に分散して案内され、各部の高分子吸収体シート3に吸収されるため、排出された体液がペニス格納部5に滞留することがない。 40

【0038】

図1及び図4に示すように、袋体2の前面側において、前記挿入部4の近傍には、下部が一体となった可撓性材料からなる2本の帯状の結束バンド10が設けられている。結束バンド10は、着用者が着用時に挿入部4から挿入したペニスPに巻き付けて使用する。結束バンド10には、袋体2の表面の不織布に接合し易い薄いフック層11が設けられ、着用時に結束バンド10をペニスPに巻き付けた後に袋体2の正面側に接合できる。従って、男性の着用者がペニスPを袋体2の挿入部4から内部に挿入し、2本の結束バンド10, 10を互いに反対方向からペニスPにかけ回してペニスPを結束し、これら各結束バンド10のフック層11を袋体2の正面側に接合すれば、着用者のペニスPに対して本製 50

品 1 を確実に取り付けることができる。

但し、本例では、後述するようにこの吸収体製品単独で着用者に装着するのではなく、着用者のペニスに挿入して装着するリング状乃至短筒状の装着具を介して吸収体製品を装着するので、必ずしも装着のために上記結束バンド 10 が必須であるとはいえない。

【0039】

なお、図 2 に示すように、袋体 2 の背面側の中央上部には、粘着層 12 が設けられている。粘着層 12 は図示しない剥離シートに覆われており、着用時に該剥離シートを剥がせば、着用者の下着の前身頃の内面側に袋体 2 を貼り付けて本製品 1 の装着を確実にすることができる。

【0040】

10

(2) 装着具の構造例 (図 5 及び図 6)

本例の装着具 20 は、前記吸収体製品 1 を着用者に簡易かつ確実に装着するために用いられる治具であって、環状又は先方が小径の円錐台形で中央の挿入孔 21 が前後に貫通した短筒状の基体 22 を必須とし、さらに装着を確実にする装着帯を取り付けるために該基体 22 の両側部に突出して一体に設けられた左右一对のウイング 23 を有することが好ましい。なお、ここでウイングとは、図示のような翼状の張り出し片を意味することはもちろん、後述するように必ずしも翼状のものだけでなく、要するに基体 22 の両側部に突出して一体に張り出すような平板状の部分であればよい。装着具 20 の材質としては、着用者の肌に直接接することから、柔らかくクッション性がありかつ摩擦によりある程度の位置保持性が得られる材質、例えばポリエチレン、ウレタン、ゴム等の発泡体や弾性材料

20

【0041】

基体 22 は、ペニス P を挿入孔 21 に挿入・貫通させてペニス P に装着固定し、このペニス P の先端が挿入された前記吸収体製品 1 を取り付けするための部材である。基体 22 の挿入孔 21 に着用者 M のペニス P が挿入されると、挿入孔 21 の先方の直径が小さくなっていることから、挿入孔 21 の内周面がペニス P の外周面に密着してペニス P に対して基体 22 はずれにくくなり、装着具 20 はしっかりとペニス P に装着される。また、基体 22 には吸収体製品 1 を確実に脱着可能に取り付けるための結合部が設けられている。この結合部は、例えば図 6 中に示す結合部 24 のように、基体 22 の先端の外周 (又は内周) に設けられた粘着面、面ファスナー等の結合手段でもよいし、後述するように機械的な係止部のような結合手段でもよい。また基体 22 側に設けなくて吸収体製品 1 の挿入部 4 の周辺に設けることとしても良い。

30

従って、この装着具 20 を着用者 M の身体 (ペニス P) に取付け、吸収体製品 1 を結合部を介して装着具 20 に取り付けることで、吸収体製品 1 を着用者 M の身体側にしっかりと装着することができる。

【0042】

前述したウイング 23 は、後述する着用者 M の下半身 (腰等) に巻装される装着帯 (25) に固定される部分であり、これによって装着具 20 はさらに確実に着用者 M の身体に取り付けられる。すなわち、図 5 及び図 6 中には現れないが、ウイング 23 の端部又は後述する装着帯 (25) の端部には面ファスナー等の連結部 (26) を設けておくことにより、装着具 20 のウイング 23 と装着帯 (25) とは必要に応じて結合したり分離したりできる。このウイング 23 は、着用者 M の鼠蹊部と干渉しないように各々水平方向よりもやや上方に傾斜した形状になっているため、着用者 M の着用感はよく、また体位の変化や脚部の運動等によって装着具 20 が外れないように配慮されている。

40

【0043】

(3) 装着ユニットの構造例 (図 7 及び図 8)

図 7 及び図 8 は、装着具と装着バンドから構成される本例の装着ユニットを着用者 M が実際に着用した状態を示す。

この装着ユニット 27 は、(2) で説明した前記装着具 20 と、着用者 M の下半身に巻装されて前記装着具 20 に連結される保持用の装着帯 25 とにより構成される。本例の装

50

着帯 25 は、着用者 M の腰に巻装される腰帯 28 を有しており、この腰帯 28 の両端が装着具 20 の前記ウイング 23 に前記連結部 26（例えば面ファスナー等）を介して連結される。そして、この腰帯 28 には、腰の左右両側に相当する 2 箇所に、それぞれ固定帯 29 の一端部が固定されており、各固定帯 29 の他端部は着用者 M の股下を経て前方に引き回され装着具 20 の前記ウイング 23 に前記連結部 26（例えば面ファスナー等）を介して連結されるようになっている。この装着帯 25 によれば、装着具 20 単独に対して吸収体製品 1 を装着した場合に比べ、ペニス P に装着された装着具 20 を確実に保持できることから、吸収体製品 1 の装着状態が安定し不意に吸収体製品 1 が外れたり装着状態の不良により液漏れを起こしたりする危険性が減少する。なお、固定帯 29 は、着用者 M が通常の下着を付けた場合の該下着の裾のラインにほぼ相当する位置に配されるので、着用者 M にとっては着用時に違和感が少ない。

10

【0044】

（４）男性用体液処理用品の構造例（図 9～図 16）

図 9 及び図 10 は、（３）で説明した装着ユニット 27 を着用者 M が装着し、着用者 M のペニスを挿入した袋状の吸収体製品 1 を該装着ユニット 27 の基体 22 に結合した状態を示すものである。

特に、図 9 は（１）で説明した形状・構造の吸収体製品 1 を使用した例であり、図 10 は他の構造の吸収体製品 1' を使用した例を示すものである。これらの図では、袋体からペニスが露出しているように見えるが、これは構造の説明のための便宜であり、実際にはペニスは袋体の内部に格納されている。このように、本例の装着具 20 又は装着ユニット 27 に適用可能な吸収体製品は、必ずしも（１）で説明したようなものに限られるものではなく、要するに袋状の本体内に十分な吸収容量を有する吸収体があって、この袋状の本体にペニス P を差し込んで使用するタイプのものであればよい。

20

【0045】

ここで、上述したような構造の場合、ペニス P が差し込まれる吸収体製品の挿入部の近傍を、ペニス P が貫通している装着具 20 の挿入孔 21 の近傍に結合し、液漏れを防止することが必要である。そのためには、吸収体製品の挿入部と装着具の結合部が隙間なく一体となるような構造を有している必要がある。

【0046】

図 11～図 16 は、上述のような液漏れ構造を備えた装着具と吸収体製品との結合部の構造を示す図であり、これらの図を参照して係る構造について説明する。

30

図 11 は、前記装着具 20 の基体 22 の先端外周に、結合部として、面ファスナー 24 a（第 1 の結合手段）を設けた例である。ここで、面ファスナーとは、微小な係止部材（係止鉤等）が所定の面積の基材上に多数植設された面接合手段であり、不織布等又はループ構造を有する対象物に対してワンタッチで結合・離脱することができる。この例によれば、同図（a）、（b）、（c）に示すように吸収体製品 1 a の挿入部 4 に基体 22 を挿入し、面ファスナー 24 a を前記吸収体製品 1 a の袋体の内側に貼着することにより、前記基体 22 を前記挿入部 4 に挿入した状態に保持し、吸収体製品 1 a を装着具 20 にしっかりと結合することができる。面ファスナー 24 a は基体 22 の先端外周に全周にわたって設けられているので、同図（d）の断面図に示すように基体 22 と吸収体製品 1 a との間は実質的に密着しているので、この間から液漏れが生じるおそれは少ない。

40

【0047】

図 12 は、図 11 に示した例において、吸収体製品 1' の袋体の外面において、挿入部 4 の両側の位置にも別途面ファスナー 24 b を設けた例である。同図（a）、（b）、（c）に示すように前記基体 22 を前記挿入部 4 に挿入した状態で挿入部 4 の両側の袋体を挿入部 4 側に折り返して袋体に結合することで、同図（d）の断面図に示すように基体 22 と吸収体製品 1 b とを密着させた状態で吸収体製品 1 b を装着具 20 に結合することができる。

【0048】

図 13 は、前記装着具 20 の基体 22 の先端に、結合部として、外方突出形状のフラン

50

ジ部からなる係止構造 35（結合手段）を設けたものであり、吸収体製品 1c の挿入部 4 には、結束用の紐体 50 を付属させて設けておく。同図（a）、（b）、（c）に示すように、基体 22 を挿入部 4 内に挿入し、紐体 50 を引き縛って結び、係止構造 35 に袋体の挿入部 4 を引っ掛けて吸収体製品 1c を装着具 20 に結合することができる。

【0049】

図 14 は、図 13 と同様の係止構造を有する前記装着具 20 において、吸収体製品 1d の挿入部 4 には結束用の巾着状の紐体 51 を設けたものである。同図（a）、（b）、（c）に示すように、基体 22 を挿入部 4 内に挿入し、巾着状の紐体 51 を引き縛ることにより、係止構造 35 に袋体の挿入部 4 を引っ掛けて吸収体製品 1d をワンタッチの操作で装着具 20 に結合することができる。

10

【0050】

図 15 は、図 13 と同様の係止構造を有する前記装着具 20 において、吸収体製品 1e の挿入部 4 の周囲に弾性材料からなる弾性帯 52 を設けたものである。同図（a）、（b）、（c）に示すように、弾性帯 52 を引き伸ばして吸収体製品 1e の挿入部 4 に基体 22 を挿入し、弾性帯 52 から手を離せば弾性帯 52 が縮退して吸収体製品 1e を装着具 20 にワンタッチの操作で結合することができる。

【0051】

図 16 は、前記装着具 20 の基体 22 の先端に、結合部として、外方に突出した周状で後方に反り返った鉤爪部を有する係止構造 35x を設けたものであり、これに対し、吸収体製品 1f の挿入部 4 の周囲には、円筒形の口部 33 の先端の内側に、装着具 20 のものとは反対方向に向いた鉤爪部を有する係止構造 35y が設けられている。同図（a）に示すように、装着具 20 の基体 22 を吸収体製品 1f の口部 33 の挿入部 4 内に挿入すれば、同図（b）に示すように、両係止構造 35x、35y の鉤爪部が互いに係合し、吸収体製品 1f はワンタッチの操作で装着具 20 に確実に結合することができる。

20

なお、面ファスナーと係止構造を両方とも設けることとすれば、吸収体製品と装着具の結合はより確実に、液漏れのおそれはさらに低減する。

【0052】

（5）装着具 20 の変形例（図 17～図 26）

前記装着具 20 の形状・構造上の種々の変形例を図 17～図 26 を参照して説明する。

図 17 は、種々の構造のウイング 23 を有する装着具 20 の変形例を示す。

30

図 17（a）に示す装着具 20a は、図 5 及び図 6 に示し（2）で説明した装着具 20 と同一構造であるが、その一对のウイング 23、23 の前面側（及び必要に応じて後面側）には装着帯 25 を着脱可能に結合するための面ファスナー又は粘着面等の連結部 26 を設けたものであり、前面側の連結部 26 を図面上明示したものである。

【0053】

図 17（b）に示す装着具 20b は、（a）と同一構造において各ウイング 23 に孔部 30 を形成して枠状にし、着用者 M が装着した際の肌の蒸れを防止したものである。

【0054】

図 17（c）に示す装着具 20c は、（a）と同一構造において各ウイング 23 に多数の細かい孔部 30a を形成し、着用者 M が装着した際の肌の蒸れを防止したものである。

40

【0055】

図 17（d）に示す装着具 20d は、（a）と略同一構造であるがウイング 23a は斜め上に傾斜せず水平に伸びており、装着帯 25 を結合した場合に装着帯 25 の長手方向とウイング 23a を含めた装着具 20 の長手方向が一致するために、装着帯 25 が弛みにくい構造である。

【0056】

図 17（e）に示す装着具 20e は、挿入孔 21 の構造は（a）と略同一であるがウイング 23b が 3 枚であり、斜め上方向きの 2 枚に加えて真下向きの 1 枚が設けられた例である。この装着具 20e は、斜め上方向きの 2 枚のウイング 23b に結合される 1 本の腰帯 28 と、着用者 M の股下を通して真下向きの 1 枚のウイング 23b に結合される 1 本の

50

固定帯 2 9 とからなる装着帯 2 5 等を以て保持することができる。

【0057】

図 1 7 (f) は (e) においてウイング 2 3 c の長さを短くして全体としてコンパクトな構成としたものである。

【0058】

図 1 8 は、種々の構造のウイング 2 3 又は挿入孔 2 1 を有する装着具 2 0 の変形例を示す。

図 1 8 (a) に示す装着具 2 0 g は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 2 0 と挿入孔 2 1 は同一構造であるが、上下に伸びる一对のウイング 2 3 d , 2 3 e を有し、下側のウイング 2 3 e が孔部 3 0 b により杵状に形成された例である。この孔部 3 0 b は、着用者 M の辜丸を逃がして着用時に辜丸に無用な圧力が加わらないようにする機能を有し、蒸れ防止の効果とともに装着感を一層向上させる。この装着具 2 0 g は、装着帯 2 5 の腰帯 2 8 の 1 箇所において上側のウイング 2 3 d の連結部 2 6 に結合され、着用者 M の股下を通る 1 本の固定帯 2 9 が下向きのウイング 2 3 e の連結部 2 6 に結合される。

10

【0059】

図 1 8 (b) に示す装着具 2 0 h は、図 1 7 (e) の装着具 2 0 e と略同一構造において下向きのウイング 2 3 g に孔部 3 0 c を形成して杵状にし、着用者 M が装着した際には辜丸を逃がして着用時に辜丸に無用な圧力が加わるのを防止するとともに、肌の蒸れを防止したものである。

【0060】

20

図 1 8 (c) に示す装着具 2 0 j は、円筒形ではなく中央に挿入孔 2 1 がある環状の鍔体を基体 2 2 a としている。基体 2 2 a は外方に張り出して周状に連続するウイング 2 3 h となり、ここに面ファスナー等の連結部 2 6 が 4 箇所に設けられており、装着帯 2 5 の腰帯 2 8 の両端が上の 2 つに結合され、装着帯 2 5 の 2 本の固定帯 2 9 の各端部が下方の 2 つに結合される。

【0061】

図 1 8 (d) に示す装着具 2 0 k は、図 1 8 (c) に示した装着具 2 0 j と略同一構造であるが、基体 2 2 b 全体の直径がより大きく挿入孔 2 1 a が小さいタイプであり、着用者 M のサイズに合わせて選択することができる。

【0062】

30

図 1 8 (e) に示す装着具 2 0 m は、挿入孔 2 1 の構造は図 1 7 (a) と略同一であるがウイング 2 3 k が 4 枚であり、斜め上方向きの 2 枚に加えて斜め下方向きの 2 枚が設けられた例である。この装着具 2 0 m は、斜め上方向きの 2 枚のウイング 2 3 k に両端が結合される 1 本の腰帯 2 8 と、着用者 M の股下を通して斜め下向きの 2 本のウイング 2 3 k に結合される 2 本の固定帯 2 9 とからなる装着帯 2 5 等で保持することができる。

【0063】

図 1 8 (f) に示す装着具 2 0 n は、図 1 8 (e) において斜め下方向きの 2 枚のウイング 2 3 k を下向きのウイング 2 3 m にしたものであり、その間に着用者 M の辜丸を逃がすための半円形の切欠 3 1 が設けられている。装着帯 2 5 の構造は図 1 8 (e) の場合と略同様である。

40

【0064】

図 1 9 は、装着具 2 0 (又は 2 0 a) の挿入孔 2 1 付近の形状・構造の変形例を示す。

図 1 9 (a) 及び (b) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 2 0 と同一構造であり、前述したように前後に貫通した挿入孔 2 1 は前方 (身体から離れる方向) に向かうに従って内径が小さくなっている。

【0065】

図 1 9 (c) に示す装着具 2 0 は、円錐台形ではなく直円筒形であり、挿入孔 2 1 の内径が一定であるのでペニス P を挿入する際に抵抗が少なく装着が容易である。

【0066】

図 1 9 (d) に示す装着具 2 0 は、図 1 9 (b) とは逆に挿入孔 2 1 の内径が前方に行

50

くに従って拡大する例であり、ペニス P の根本でペニス P に掛止して取り付けられる。

【0067】

図 19 (e) に示す装着具 20 は、挿入孔 21 の内面が内に向けて滑らかに凸とされ、前方の開口には係止構造 35 としてのフランジが形成された例であり、吸収体製品 1 の挿入部 4 をこのフランジに掛けて取り付けることが可能である。

【0068】

図 19 (f) は図 18 (c)、(d) に示すような装着具 20 j, 20 k の挿入孔 21, 21 a 付近の形状・構造を示すものであり、中央に設けられた円形の挿入孔 21, 21 a においてペニス P に係止する。

【0069】

図 20 は、円筒形または円錐台形の基体 22 において挿入孔 21 の付近に設けられた結合部としての係止構造 35 の構造例を示す。これら係止構造 35 は、その形状により機械的に吸収体製品 1 の挿入部 4 を引っ掛け、又は前述したように吸収体製品側の紐体等と協働して吸収体製品に結合される部分である。

図 20 (a) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 において、基体 22 の先端の外側に水平なフランジ状の係止構造 35 a を設けたものである。

【0070】

図 20 (b) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 において、図 16 で示したような身体側に向いた反しを備えて係止を一層確実にしたフランジ状の係止構造 35 b を設けたものである。

【0071】

図 20 (c) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 において、基体 22 の先端の外側に 2 段構造で面取りしたフランジ状の係止構造 35 c を設けて装着の確実性と脱離の容易性を実現したものである。

【0072】

図 20 (d) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 において、基体 22 の先端の外側に凹溝状の係止構造 35 d を設けて装着の確実性を実現したものである。ここで、挿入孔 21 の内面には凹溝状の係止構造に対応した凸条が形成されるので、装着時のペニス P の固定が一層確実になる。

【0073】

図 20 (e) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 において、基体 22 の先端を外側に向けて湾曲させた凸状の係止構造 35 e を設けて装着の確実性と脱離の容易性を実現したものである。

【0074】

図 20 (f) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 において、基体 22 の先端の外側に 1 段の凹溝状の係止構造 35 f を設けて装着の確実性を実現したものである。

【0075】

図 20 (g) は、(f) の係止構造 35 f を 2 段にした係止構造 35 g を設けて装着の確実性を一層高めたものである。

【0076】

図 21 は、円筒形または円錐台形の基体 22 において挿入孔 21 の付近に身体側への液漏れ防止用の各種構造を設けた例を示す。

図 21 (a)、(b) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 (又は 20 a) であり、装着時にはペニス P が挿入孔 21 内にぴったりと嵌るので吸収体製品 1 から漏れた尿が挿入孔 21 から身体側に入り込むことはないが、(c) 以降に図示する構成を付加すればなおよい。

【0077】

図 21 (c) は、図 5 及び図 6 に示し (2) で説明した装着具 20 (又は 20 a) において、挿入孔 21 の内周面に、挿入孔 21 に挿入されたペニス P の外周面に密着する可撓

10

20

30

40

50

性を備えた周状のシール片 37 を複数段（図示では 4 段）設けた例を示す。シール片 37 は斜め前方に向けられており、ペニス P の挿入が容易であるとともに、装着後は尿が逆流してもペニス P の外周面に密着する逆止弁となって挿入孔 21 内に尿が入るのを効果的に防止する。

【0078】

図 21（d）は、図 5 及び図 6 に示し（2）で説明した装着具 20（又は 20a）において、挿入孔 21 の身体側の開口において、その内周面に、挿入孔 21 に挿入されたペニス P に密着する可撓性を備えた 1 枚の周状のシール片 37a を設けた例を示す。シール片 37a は、装着後は尿が逆流してもペニス P の外周面に密着する逆止弁となって挿入孔 21 内に尿が入るのを効果的に防止する。

10

【0079】

図 21（e）は、（d）のシール片 37a を斜め前方に向けた構造のシール片 37b とし、ペニス P の挿入を容易にするとともに、装着後は尿が逆流してもペニス P の外周面に密着する逆止弁となって挿入孔 21 内に尿が入るのを効果的に防止する。

【0080】

図 21（f）は、図 5 及び図 6 に示し（2）で説明した装着具 20（又は 20a）において、基体 22 の後面（身体側）に、挿入孔 21 の周縁において着用者 M の身体に接触する断面角型で環状のシール部 39 を突出して設けたものである。装着後は、尿が逆流して挿入孔 21 に入ったとしても、挿入孔 21 の身体側の開口においてシールされるので、身体側に液漏れすることがない。

20

【0081】

図 21（g）は、（f）のシール部 39 のシール幅を大きくして液漏れ防止機能を一層固めたシール部 39a を設けたものである。

【0082】

図 21（h）は、断面半円形のシール部 39b を設けて着用者 M の身体に対する当たりを和らげて装着感を向上させたものである。

【0083】

図 22 は、装着具 20（又は 20a）の基体 22 に設けられたウイング 23 の後側（身体側）に、身体表面との接触面積を減らして蒸れを防止するための凹凸 41 を設けた例を示す。

30

図 22（a）、（b）は、図 5 及び図 6 に示し（2）で説明した装着具 20（又は 20a）において、ウイング 23 の後側（身体側）に、縦方向に沿って凹溝及び凸条を交互に設けて凹凸 41 としたものの断面図及び正面図（凹凸 41 を図上透視して示す）であり、身体表面との接触面積を減らして蒸れを防止することが出来る。

【0084】

図 22（c）に示すように、縦横の凹溝及び凸条から構成されるで格子状の凹凸 41a でもよいし、図 22（d）に示すように、略半円形状の凸部を設けることで凹凸 41b としても良い。

【0085】

次に、図 23～図 26 を参照して、他の装着具 20 の構成について説明する。

40

図 23 及び図 24 に示す装着具 20x は、図 5 及び図 6 に示し（2）で説明した装着具 20（又は 20a）において基体 22 の先端下側に略 U 字状の切欠部 55 を設けたものである。図 25 に示す装着具 20y は、同じく基体 22 の先端左右両側に略 U 字状の切欠部 56 がそれぞれ設けられている。これらの装着具 20x、20y によれば、装着時にペニス P の挿入がし易く、介護者が装着具 20x、y の挿入孔 21 からペニス P を引っ張り出しやすくなる。さらに、この装着具 20x は、図 26 に示すように、後述する装着帯 25 によって着用されるが、この図からも分かるように、着用者 M のペニス P は切欠部 55 によって案内保持されるので、仰臥位での使用（装着具 20x の場合）や、横臥位での使用（装着具 20y の場合）において、ペニス P の向きが自然な方向（下や横）に向くようになる。また、ペニス P の向きを固定することにより、排尿時の液の流れを吸収体製品の吸

50

収体の方へと誘導しやすくなる。

【0086】

(6) 装着帯25の変形例(図27～図39)

装着具20及び装着帯25からなる装着ユニット27の種々の形態を図27～図39を参照して説明する。図27から図33及び図35から図37の各図において、それぞれ(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を身体の側面側から示すものである。なお、これらの装着帯25は、全体を弾性材料で構成してもよいが、少なくとも長さ方向の一部を弾性材料で構成すれば、着用者Mの胴体に確実にフィットさせることができる。

【0087】

図27は、図17(a)に示す装着具20aを使用した例であり、装着帯25は、着用者Mの腰に巻装されるとともに、その両端が装着具20の左右一対のウイング23に連結部26を介して連結された腰帯28からなる。なお、ここで装着帯25と装着具20を連結する連結部とは、装着帯25が連結される装着具20のウイング23の端部と、装着具20のウイング23に設けられた面ファスナー等の連結手段である連結部26と、ウイング23に連結される装着帯25の端部と、ウイング23に連結される装着帯25の端部に設けられる面ファスナー等の連結手段のいずれをも意味するものである。

【0088】

図28は、図17(f)に示す装着具20fを使用する場合であり、装着帯25aは、着用者Mの腰に巻装されるとともに、その両端が装着具20fの左右一対のウイング23cに連結部26を介して連結される腰帯28と、腰帯28の背面側中央に取り付けられて股下にかけて回され、下向きのウイング23cに連結部26を介して連結された1本の固定帯29からなる。

【0089】

図29は、図17(f)に示す装着具20fを使用する場合であり、装着帯25bは、着用者Mの腰に巻装されるとともに、その両端が装着具20fの左右一対のウイング23cに連結部26を介して連結された腰帯28と、腰帯28の両側面にそれぞれ取り付けられて各先端が一体とされた2本の固定帯29aからなり、この2本の固定帯29aの1つの先端は、股下にかけて回されて下向きのウイング23cに連結部26を介して連結される。本例によれば、1本の固定帯29をそのまま股下にかけて回す図28の装着帯25aとは異なり、2本の固定帯29aが2股状になっているので肛門に当たることがなく、排便時の障害にならない。また、2本の固定帯29aは下着の裾のラインと一致した位置に来るので、着用者Mにとって着用時の違和感がない。

【0090】

図30は、図17(a)に示す装着具20aを使用する場合であり、装着帯25cは、着用者Mの腰に巻装されるとともに、その両端が装着具20aの左右一対のウイング23に連結部26を介して連結された腰帯28と、腰帯28の両側面にそれぞれ直交して取り付けられて股下にかけて回され、左右一対のウイング23に連結部26を介して連結された2本の固定帯29、29からなる。本例も、2本の固定帯29、29が肛門の左右に配される状態となるので、排便時の障害にならない。

【0091】

図31は、図17(a)に示す装着具20aを使用する場合であり、装着帯25dは、着用者Mの腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段43a、43bで固定される腰帯28aと、腰帯28aの両側面にそれぞれ直交して取り付けられて両太腿の付け根付近の外側に沿ってかけ回され、左右一対のウイング23に連結部26を介して連結された2本の固定帯29b、29bからなる。本例も、2本の固定帯29b、29bが太腿の前側に配される状態となるので、排便時の障害にならない。また、腰帯28aを身体に装着したまま、2本の固定帯29b、29bのみを装着具20aから外すだけで装着具20aをペニスPから直ちに取り外すことができる。

【0092】

10

20

30

40

50

図32は、図17(a)に示す装着具20aを使用する場合であり、装着帯25eは、着用者Mの腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段43a、43bで固定される腰帯28bと、腰帯28bと一体で腰帯28bと平行に延設された2本の固定帯29c、29cからなり、この2本の固定帯29cは、両太腿の付け根付近の外側に沿ってかけ回され、左右一对のウイング23に連結部26を介して連結される。本例も、2本の固定帯29cが太腿の前側に配される状態となるので、排便時の障害にならない。また、腰帯28bを身体に装着したまま、2本の固定帯29c、29cのみを装着具20aから外すだけで装着具20aをペニスPから直ちに取り外すことができる。

【0093】

図33は、図17(a)に示す装着具20aを使用する場合であり、装着帯25fは、着用者Mの腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段43a、43bで固定される幅広の腰帯28cと、腰帯28cに平行に取り付けられて延設された2本の固定帯29d、29dからなり、この2本の固定帯29dは、両太腿の付け根付近の外側前面に沿ってかけ回され、左右一对のウイング23に連結部26を介して連結される。本例も、2本の固定帯29dが太腿の前側に配される状態となるので、排便時の障害にならない。また、腰帯28cを身体に装着したまま、2本の固定帯29d、29dのみを装着具20aから外すだけで装着具20aをペニスPから直ちに取り外すことができる。また、腰帯28cが幅広なので長く着用しても着用者Mの肌に圧迫によるダメージを与えることが少ない。

【0094】

図34は、図33に示した装着帯25fの変形例である装着帯25gを外側（着用者Mの身体に接しない表側）から見た図であり、腰帯28dの一端の外側には、装着時に手を入れるためのポケット45が設けられており、介助者が着用者Mの腰にこの腰帯28dを巻く際には、介助者は一方の手Hをポケットに入れておき、ベッド上に寝ている着用者Mの腰を他方の手で若干持ち上げ、その隙間に一方の手Hを差し込んで反対側から出せば容易に腰帯28dを着用者Mの腰の背側にかけ回すことができ、装着が容易である。なお、図中47は幅広の腰帯28dが装着時に振れないようにするための形状安定用補強材である。

【0095】

図35は、図18(d)に示す装着具20kにおいて、装着具と装着帯の結合部26が1箇所とされた場合の例であり、装着帯25hは、着用者Mの腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段43a、43bで固定される腰帯28aと、巻装状態において着用者Mの前面側に来る腰帯28aの部位に直交して取り付けられた1本の短い固定帯29eからなる。装着時、ペニスPに取り付けられた円盤状の装着具20kは、腰帯28aから固定帯29eを介して安定的に吊り下げ保持された状態となる。

【0096】

図36は、図18(d)に示す装着具20kにおいて、装着具と装着帯の結合部が2箇所とされた場合の例であり、装着帯25jは、着用者Mの腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段43a、43bで固定される腰帯28aと、巻装状態において着用者Mの前面側に来る腰帯28aの部位に直交して取り付けられた1本の短い固定帯29eと、これとは反対側に同様に設けられた1本の長い固定帯29からなる。装着時、ペニスPに取り付けられた円盤状の装着具20kは、腰帯28aから短い固定帯29eを介して安定的に吊り下げ保持された状態になるとともに、長い固定帯29によって上方へのずれも規制された安定した状態に保持される。

【0097】

図37は、図18(d)に示す装着具20kにおいて、装着具と装着帯の結合部が2箇所とされた場合の例であり、装着帯25kは、着用者Mの腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段43a、43bで固定される腰帯28aと、巻装状態において着用者Mの前面側に来る腰帯28aの部位に直交して取り付けられた1本の短い固定帯29eと、腰帯28aの両側面にそれぞれ取り付けられて各先端が一体とされた2本の

固定帯 29 a からなる。装着時、短い固定帯 29 e は装着具 20 k の上側に結合され、2 本の固定帯 29 a の 1 つの先端は股下にかけて回されて装着具 20 k の下側に結合される。本例によれば、図 36 に示す例と同様、装着具 20 k は上下から位置を規制されて安定保持され、また 2 本の固定帯 29 a は 2 股状になっているので肛門に当たることがなく、排便時の障害にならない。また、2 本の固定帯 29 a は下着の裾のラインと一致した位置に来るので、着用者 M にとって着用時の違和感がない。

【0098】

図 38 は、図 17 (a) に示す装着具 20 a を使用する場合であり、装着帯 25 m は、着用者 M の腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段 43 a, 43 b で固定される腰帯 28 a と、腰帯 28 a の両側面にそれぞれ直交して取り付けられて股下にかけて回される 2 本の固定帯 29, 29 からなる。装着時、2 本の固定帯 29 は、股下にかけて回されて各端部を腰帯 28 a に固定手段 43 で固定され、その各中途部分において装着具 20 a の左右一对のウイング 23 の結合部 26 に結合される。本例によれば、2 本の固定帯 29 は肛門に当たることがなく、排便時の障害にならない。

【0099】

図 39 は、図 17 (a) に示す装着具 20 a を使用する場合であり、装着帯 25 n は、着用者 M の腰にウエストサイズに合わせて巻装されて長さ調節可能な固定手段 43 a, 43 b で固定される腰帯 28 a と、腰帯 28 a の両側面にそれぞれ角度を以って取り付けられ、中途部分で交差して股下にかけて回される 2 本の固定帯 29, 29 からなる。装着時、2 本の固定帯 29 は、股下にかけて回されて各端部を腰帯 28 に固定手段 43 で固定され、その各中途部分において装着具 20 の左右一对のウイング 23 の結合部 26 に結合される。本例によれば、2 本の固定帯 29 は肛門に当たることがなく、排便時の障害にならない。

【0100】

なお、以上の説明では、装着具 20 の挿入孔 21 は円形であったが、装着具及びその挿入孔の形状は上述のものに限定されるものではなく、例えば、図 40 に示す装着具 60 a は逆三角形の外形の基体 62 a を有し、挿入孔 61 a の形状も逆三角形であり、左右一对のウイング 63 a はそれぞれ斜め上方外側に向けて開いている。また、図 41 に示す装着具 60 b は逆台形（四角形）の外形の基体 62 b を有し、挿入孔 61 b の形状も逆台形（四角形）であり、左右一对のウイング 63 b はそれぞれ斜め上方外側に向けて開いている。このように、三角形、四角形といった角を有する挿入孔の形状であっても、漏れ対策に配慮すれば問題はない。

【0101】

また、以上の実施形態では、装着具と装着帯は部品として別体に構成され、これを互いに連結部で連結して装着ユニットとして使用していたが、装着具と装着帯が予め一体のものとして製造された装着ユニットも当然本発明の範囲に含まれる。

【0102】

以上説明したように、本例に係る男性用吸収体製品 1 の装着具 20 及び装着ユニット 27 ならびに男性用体液処理用品によれば、着用者 M の身体（ペニス P）に装着具 20 の基体 22 を確実に取り付け、さらにこの装着具 20 を装着帯 25 によって着用者 M の腰廻りに確実に安定して保持させることができるので、吸収体製品 1 の挿入部からペニス P を挿入して該挿入部を基体 22 の結合部に結合すれば、吸収体製品 1 の着用者 M の身体に対する取付けが一層確実に行え、使用中の脱落や液漏れが生じにくい。また、吸収体製品 1 の着脱は着用者 M の身体自体に対して直接行うのではなく、身体に取付けて装着帯 25 で保持された装着具 20 の基体 22 に対して行うので、作業がしやすく、特に寝たきりの状態又は車椅子に座った状態にある着用者 M 及び交換に当たる介護者の双方にとって負担が軽く、比較的頻繁な交換が必要とされる尿処理用の吸収体製品の装着に適している。

【図面の簡単な説明】

【0103】

【図 1】本発明の実施形態に係る男性用の吸収体製品 1 の正面図である。

- 【図 2】本発明の実施形態に係る男性用の吸収体製品 1 の背面図である。
- 【図 3】図 1 の A-A 切断線における断面図である。
- 【図 4】図 3 の B-B 切断線における断面図である。
- 【図 5】本発明の実施形態に係る装着具 20 の正面図、上面図、左側面図、正面図における X-X 切断線及び Y-Y 切断線における各断面図である。
- 【図 6】本発明の実施形態に係る装着具 20 の斜視図である。
- 【図 7】本発明の実施形態に係る装着ユニット 27 を着用者が装着した状態を前方から示す斜視図である。
- 【図 8】本発明の実施形態に係る装着ユニット 27 を着用者が装着した状態を後方から示す斜視図である。
- 【図 9】本発明の実施形態に係る男性用体液処理用品（吸収体製品が図 1 に示すものである場合）を着用者が装着した状態を前方から示す斜視図である。
- 【図 10】本発明の実施形態に係る男性用体液処理用品 1'（吸収体製品が図 1 に示すものの以外のものである場合）を着用者が装着した状態を前方から示す斜視図である。
- 【図 11】面ファスナーによる液漏れ構造を備えた装着具 20 と吸収体製品 1a との結合部の構造例を示す図である。
- 【図 12】面ファスナーによる液漏れ構造を備えた装着具 20 と吸収体製品 1b との結合部の他の構造例を示す図である。
- 【図 13】装着具の係止構造と吸収体製品の紐体による液漏れ構造を備えた装着具 20 と吸収体製品 1c の結合部の構造例を示す図である。
- 【図 14】装着具の係止構造と吸収体製品の巾着様紐体による液漏れ構造を備えた装着具 20 と吸収体製品 1d の結合部の構造例を示す図である。
- 【図 15】装着具の係止構造と吸収体製品の弾性体による液漏れ構造を備えた装着具 20 と吸収体製品 1e の結合部の構造例を示す図である。
- 【図 16】装着具の鉤爪部を有する係止構造と吸収体製品の鉤爪部を有する口部による液漏れ構造を備えた装着具 20 と吸収体製品 1f の結合部の構造例を示す図である。
- 【図 17】本発明の実施形態に係る装着具 20 の種々の形態例（a）～（f）を示す正面図である。
- 【図 18】本発明の実施形態に係る装着具 20 の種々の形態例（a）～（f）を示す正面図である。
- 【図 19】本発明の実施形態に係る装着具 20 の種々の形態例（a）～（f）を示す正面図である。
- 【図 20】本発明の実施形態に係る装着具 20 の種々の形態例（a）～（g）を示す正面図である。
- 【図 21】本発明の実施形態に係る装着具 20 の種々の形態例（a）～（h）を示す正面図である。
- 【図 22】本発明の実施形態に係る装着具 20 の種々の形態例（a）～（d）を示す正面図である。
- 【図 23】本発明の他の実施形態に係る装着具 20b の正面図、低面図、左側面図である。
- 【図 24】本発明の他の実施形態に係る装着具 20b の斜視図である。
- 【図 25】本発明の他の実施形態に係る装着具 20c の正面図、低面図、左側面図である。
- 【図 26】本発明の他の実施形態に係る装着具 20b を装着帯 25 で装着した状態を示す斜視図である。
- 【図 27】本発明の実施形態に係る装着ユニットの形態例を示す図であり、（a）は装着帯を示し、（b）は装着帯 25 と装着具 20 からなる装着ユニット 27 を示し、（c）は装着ユニット 27 を装着した状態を示すものである。
- 【図 28】本発明の実施形態に係る装着ユニット 27 の形態例を示す図であり、（a）は装着帯 25 を示し、（b）は装着帯 25 と装着具 20 からなる装着ユニット 27 を示し、

10

20

30

40

50

(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図29】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図30】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図31】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

10

【図32】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図33】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図34】図33に示す装着帯25の変形例を表側から示す図である。

【図35】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

20

【図36】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図37】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示し、(c)は装着ユニット27を装着した状態を示すものである。

【図38】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示すものである。

【図39】本発明の実施形態に係る装着ユニット27の形態例を示す図であり、(a)は装着帯25を示し、(b)は装着帯25と装着具20からなる装着ユニット27を示すものである。

30

【図40】本発明の他の実施形態に係る装着具60aの正面図、正面図の(イ)－(イ)切断線における断面図及び斜視図である。

【図41】本発明の他の実施形態に係る装着具60bの正面図、正面図の(イ)－(イ)切断線における断面図及び斜視図である。

【符号の説明】

【0104】

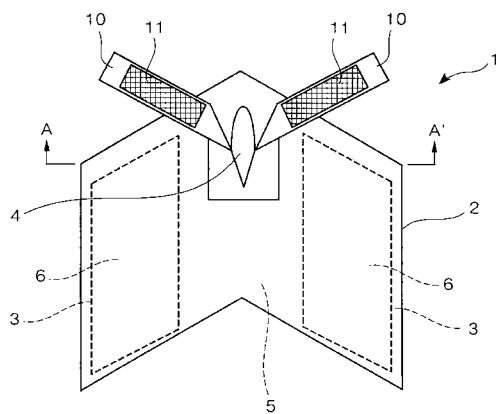
- 1 吸収体製品
- 20, 60 装着具
- 21, 61 装着具の挿入孔
- 22, 62 装着具の基体
- 23, 63 装着具のウイング
- 24 吸収体製品と装着具の結合部
- 25 装着帯
- 26 装着帯と装着具の連結部
- 27 装着ユニット
- 28 腰帯
- 29 固定帯
- 30 ウイングの孔部

40

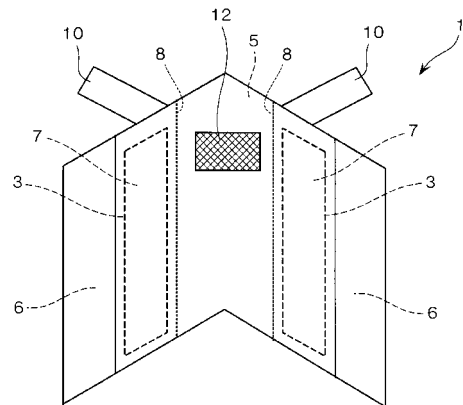
50

- 3 5 結合部としての係止構造
 3 7 シール片
 3 9 シール部
 4 1 凹凸
 P ペニス
 M 着用者

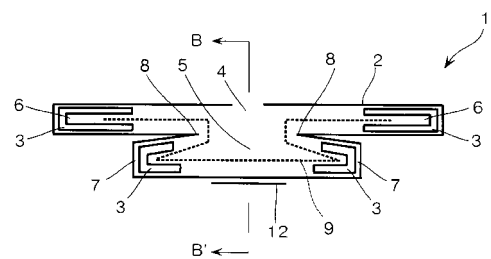
【図 1】



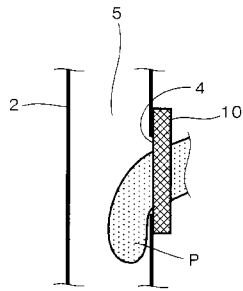
【図 2】



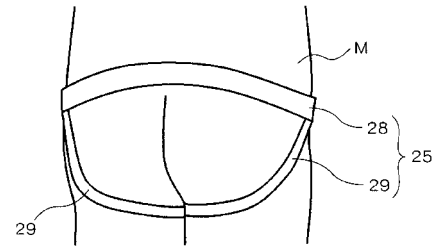
【図 3】



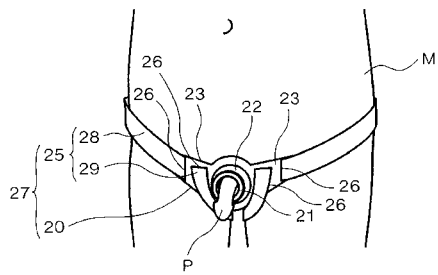
【図 4】



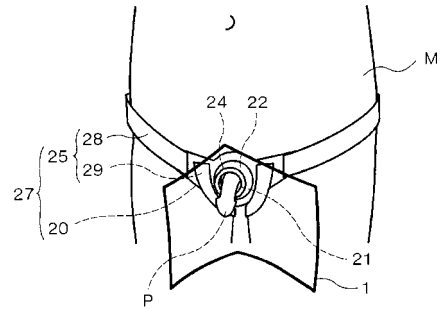
【図 8】



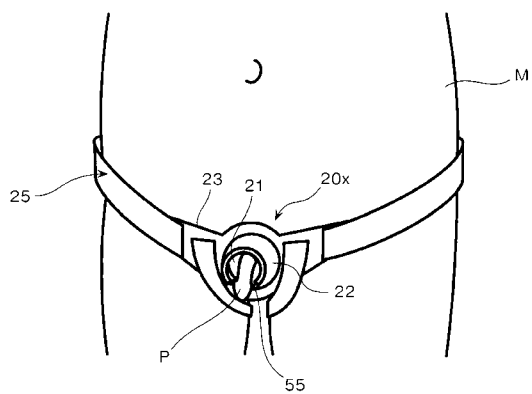
【図 7】



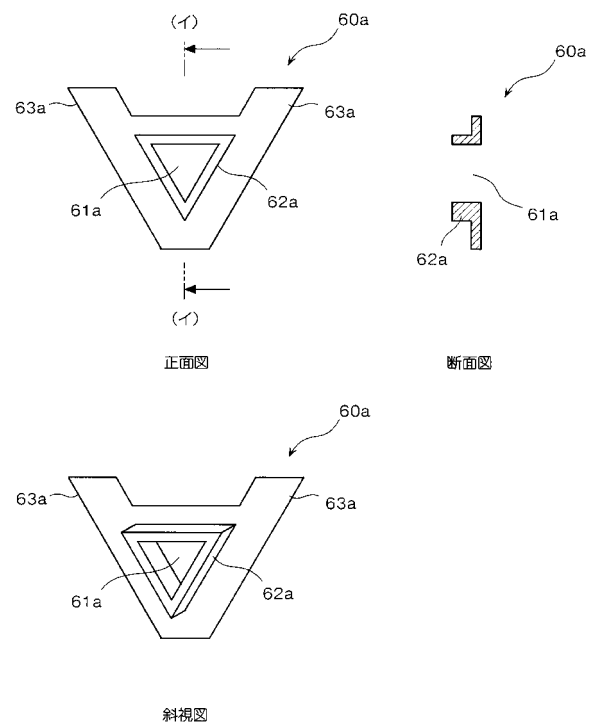
【図 9】



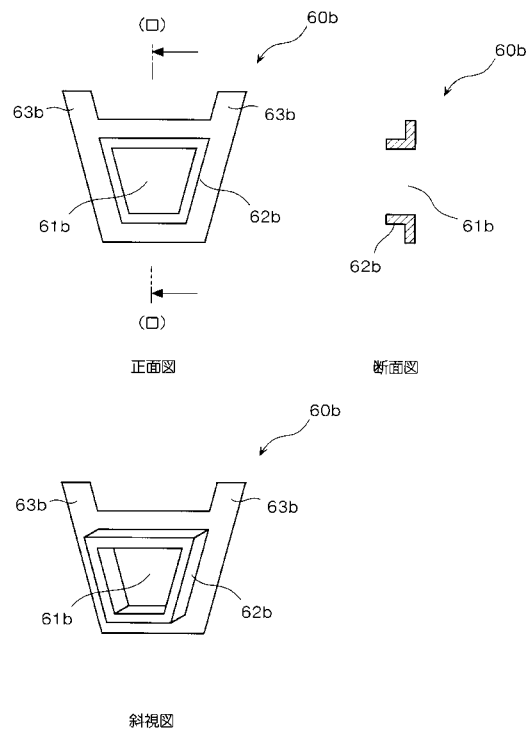
【図 26】



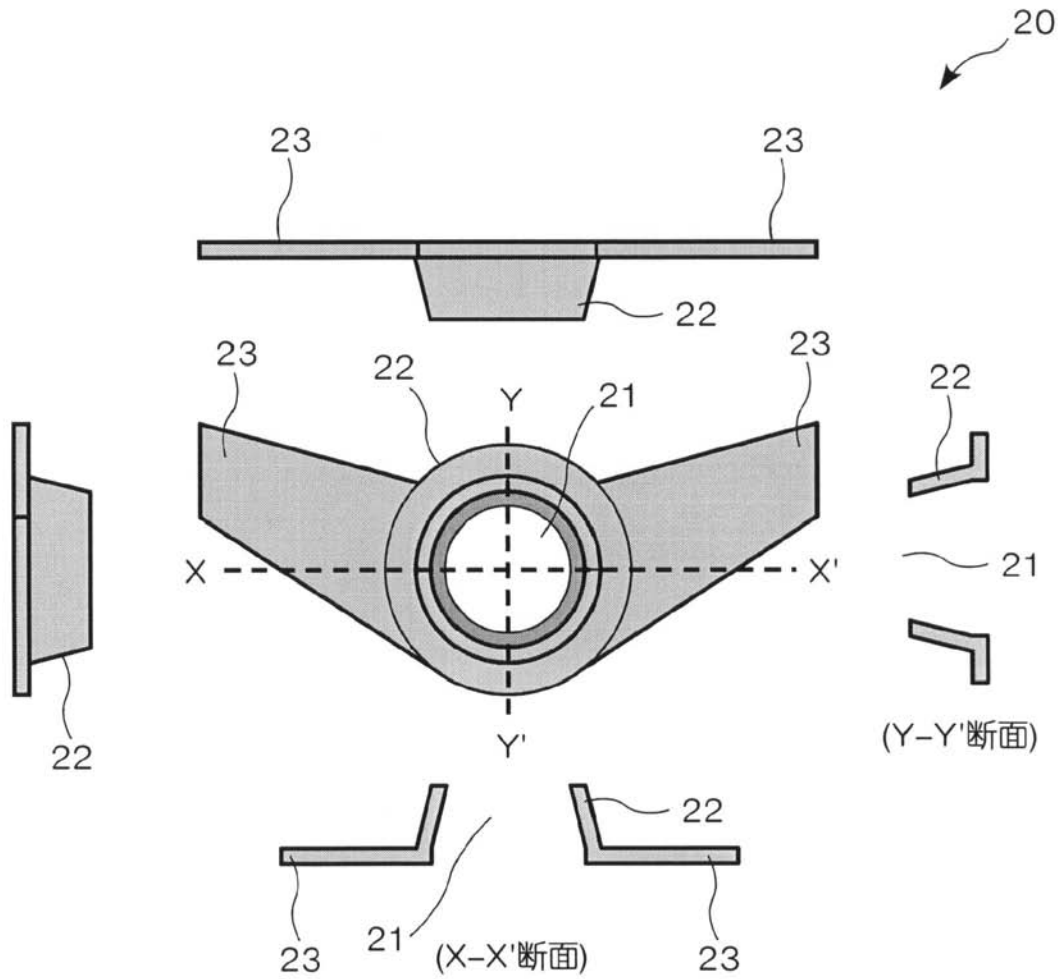
【図 40】



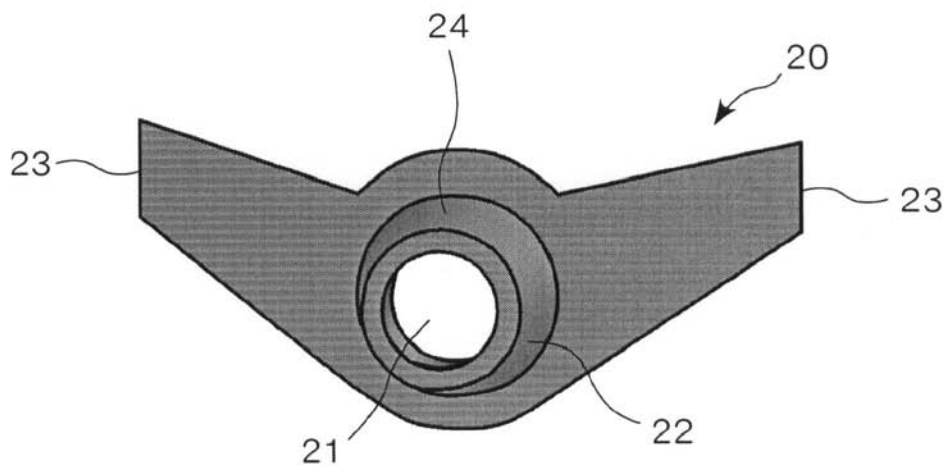
【図 4 1】



【図 5】

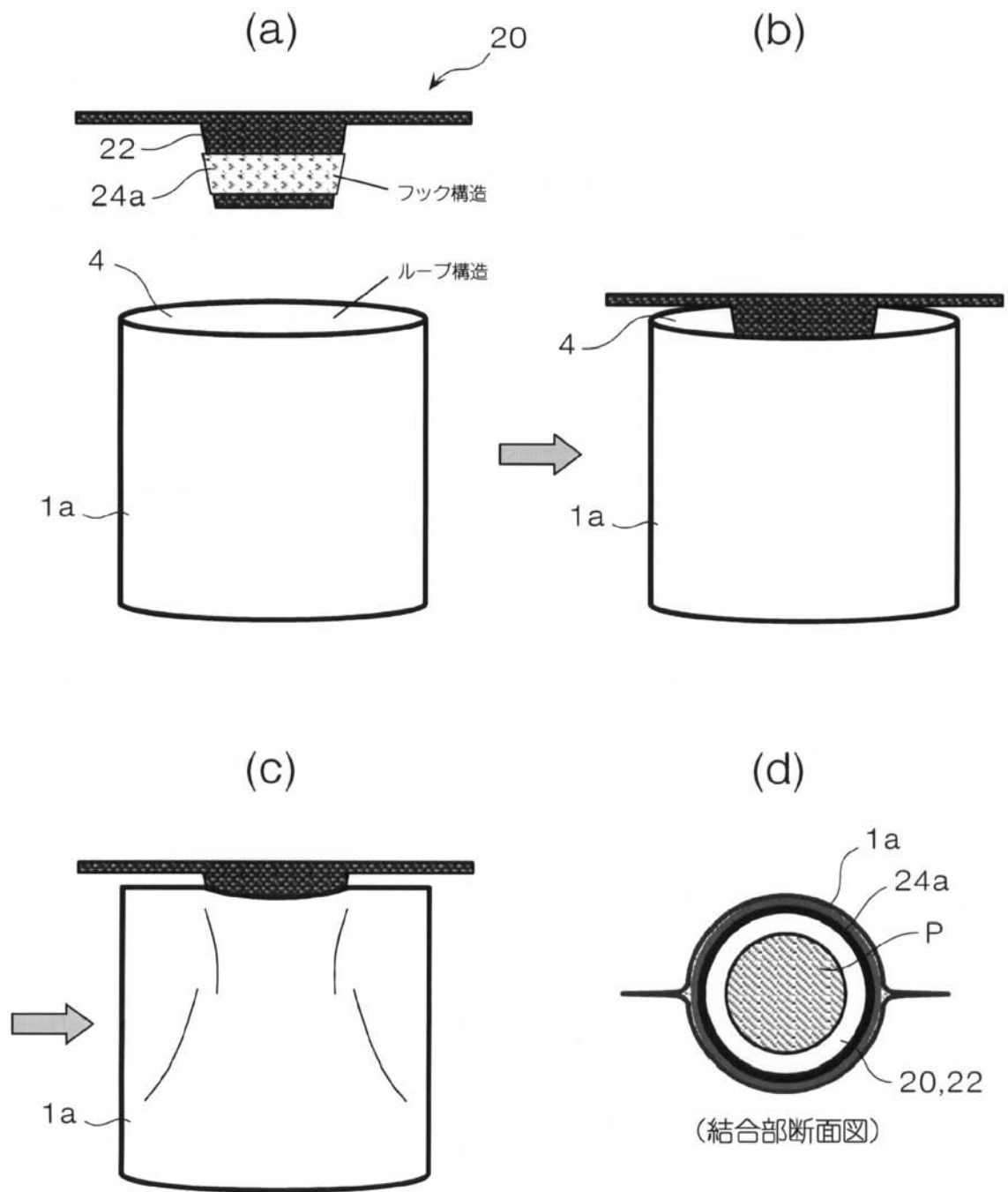


【図 6】



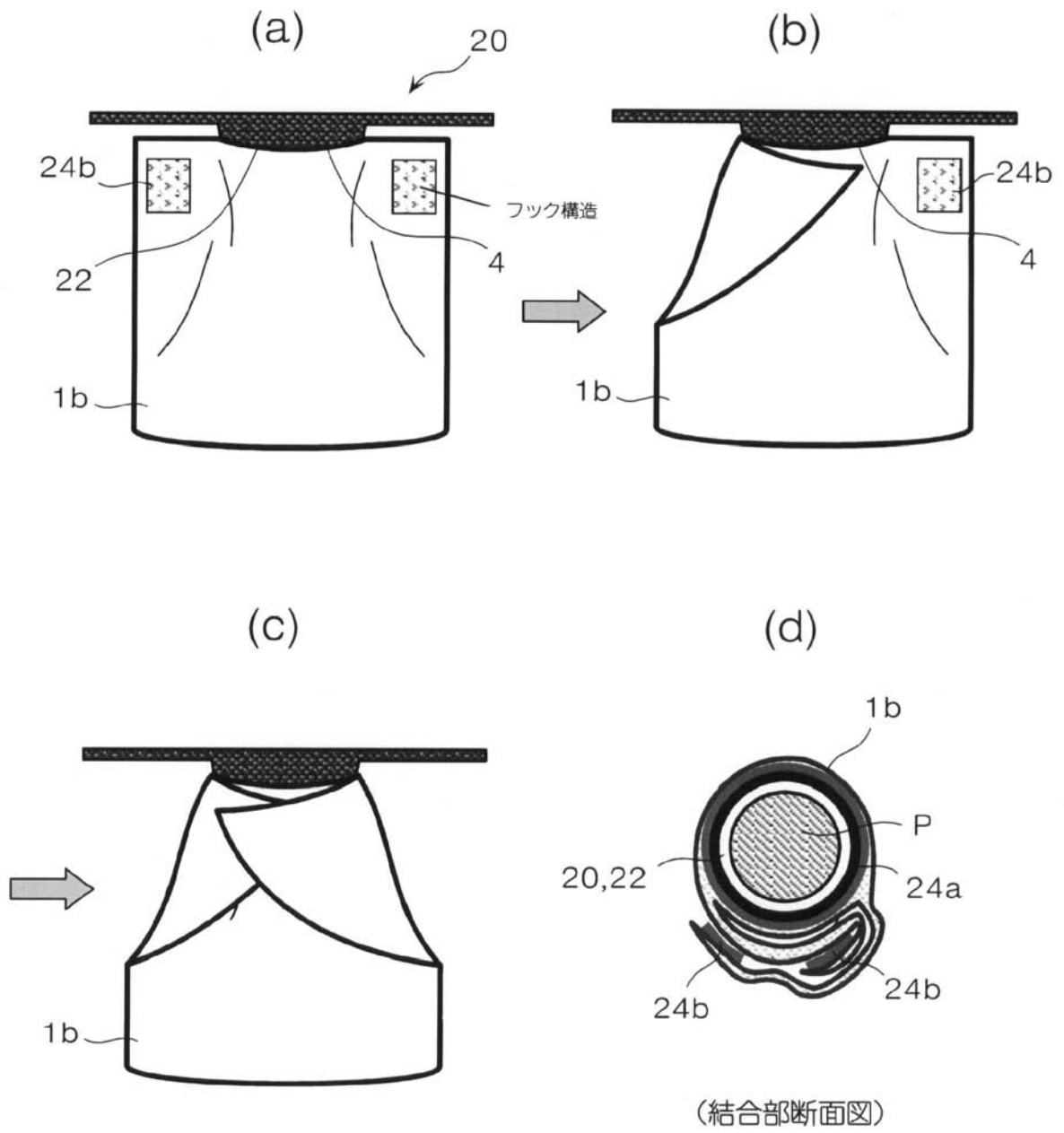
【図 1 1】

貼り付け型 I



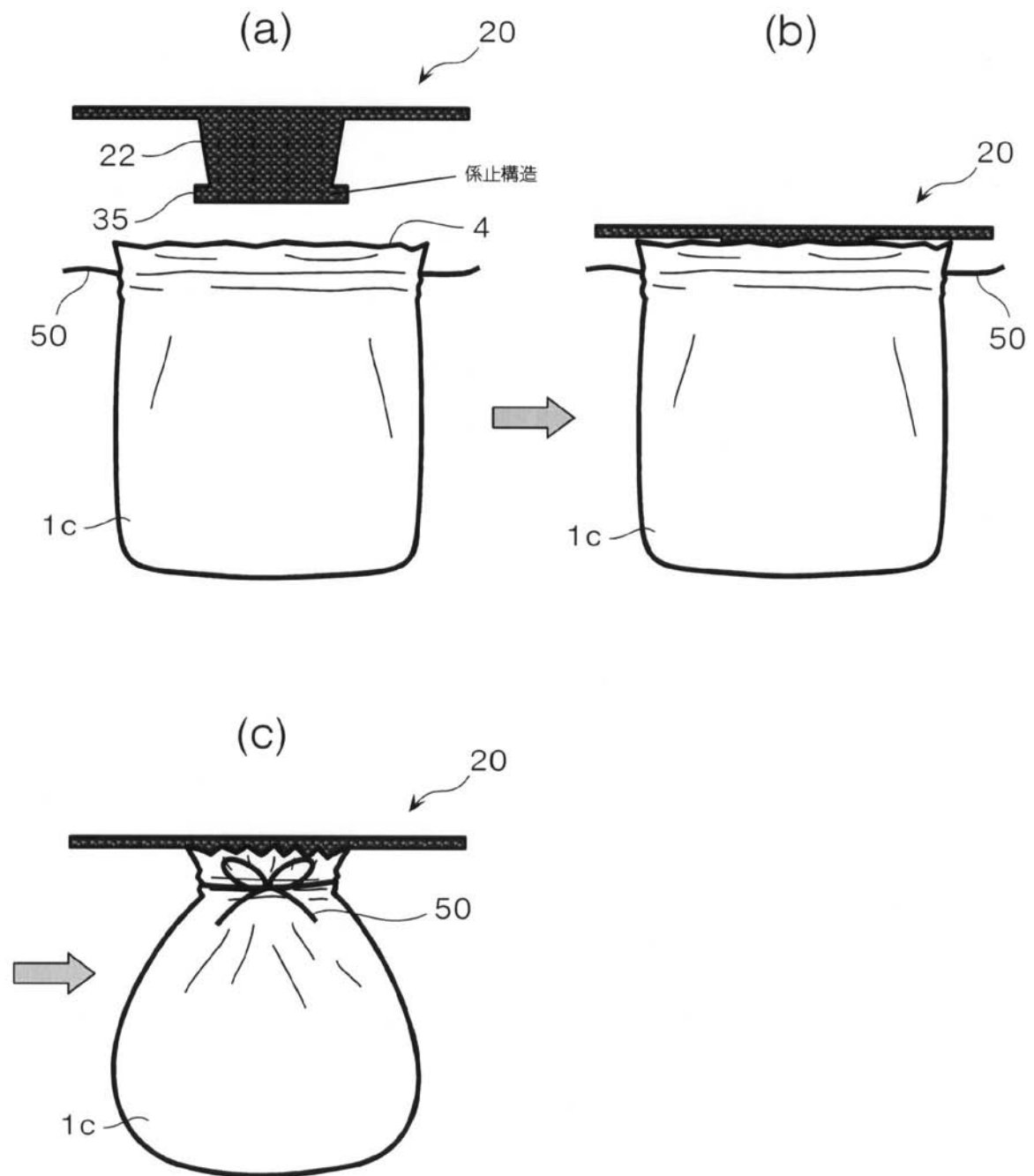
【図 1 2】

貼り付け型Ⅱ



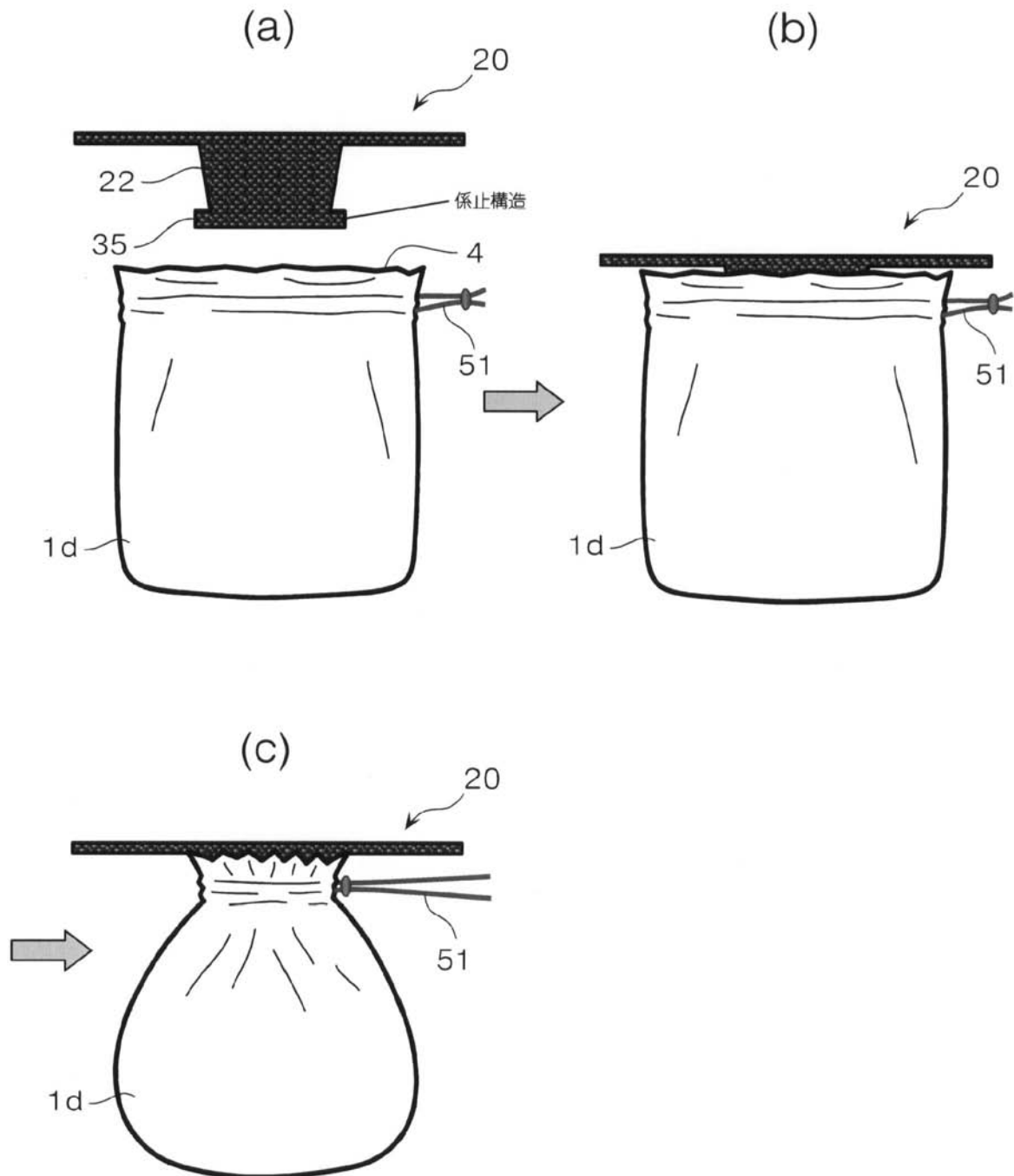
【図 13】

縛り型 I



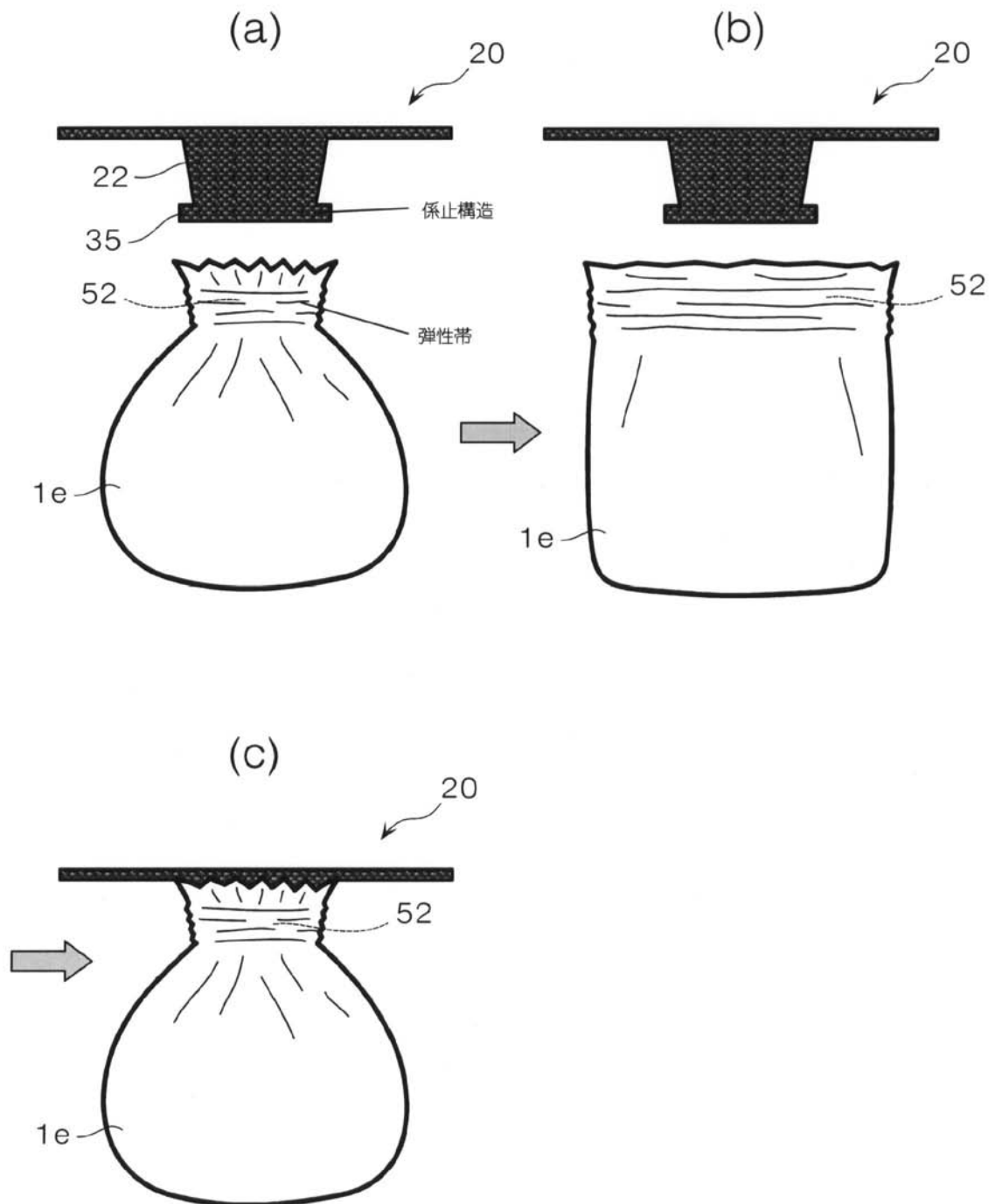
【図 1 4】

縛り型Ⅱ（巾着型）



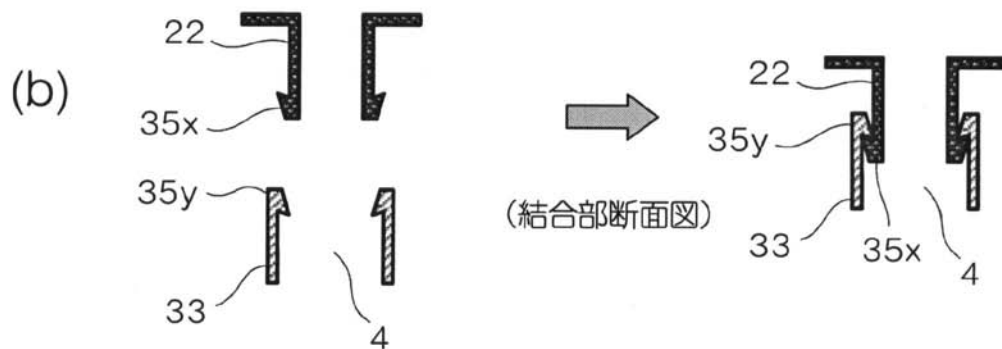
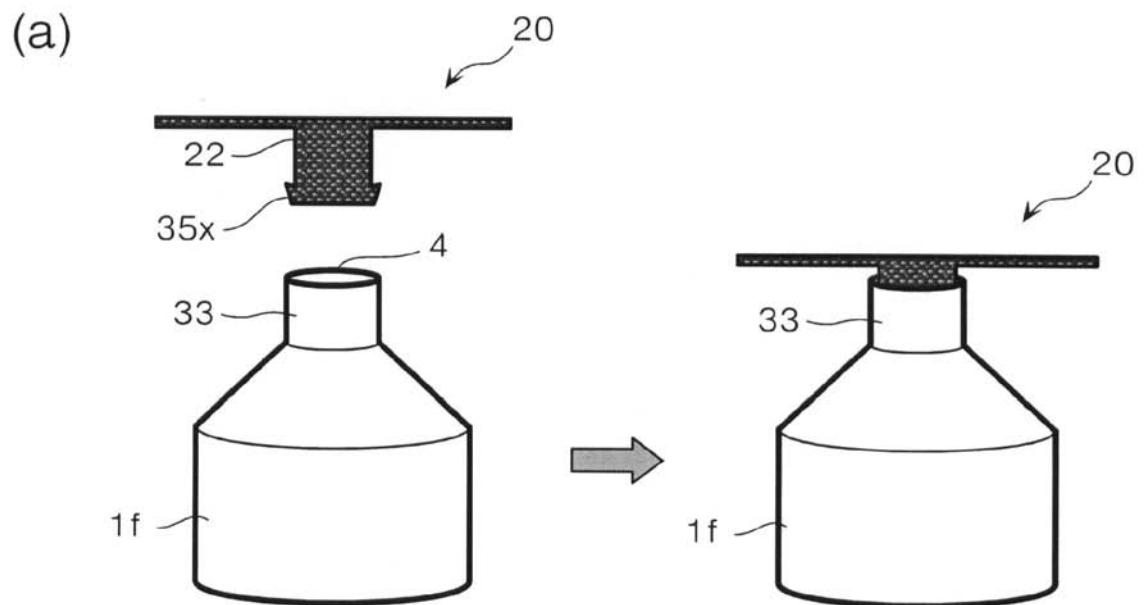
【図 15】

引っ掛け型 I

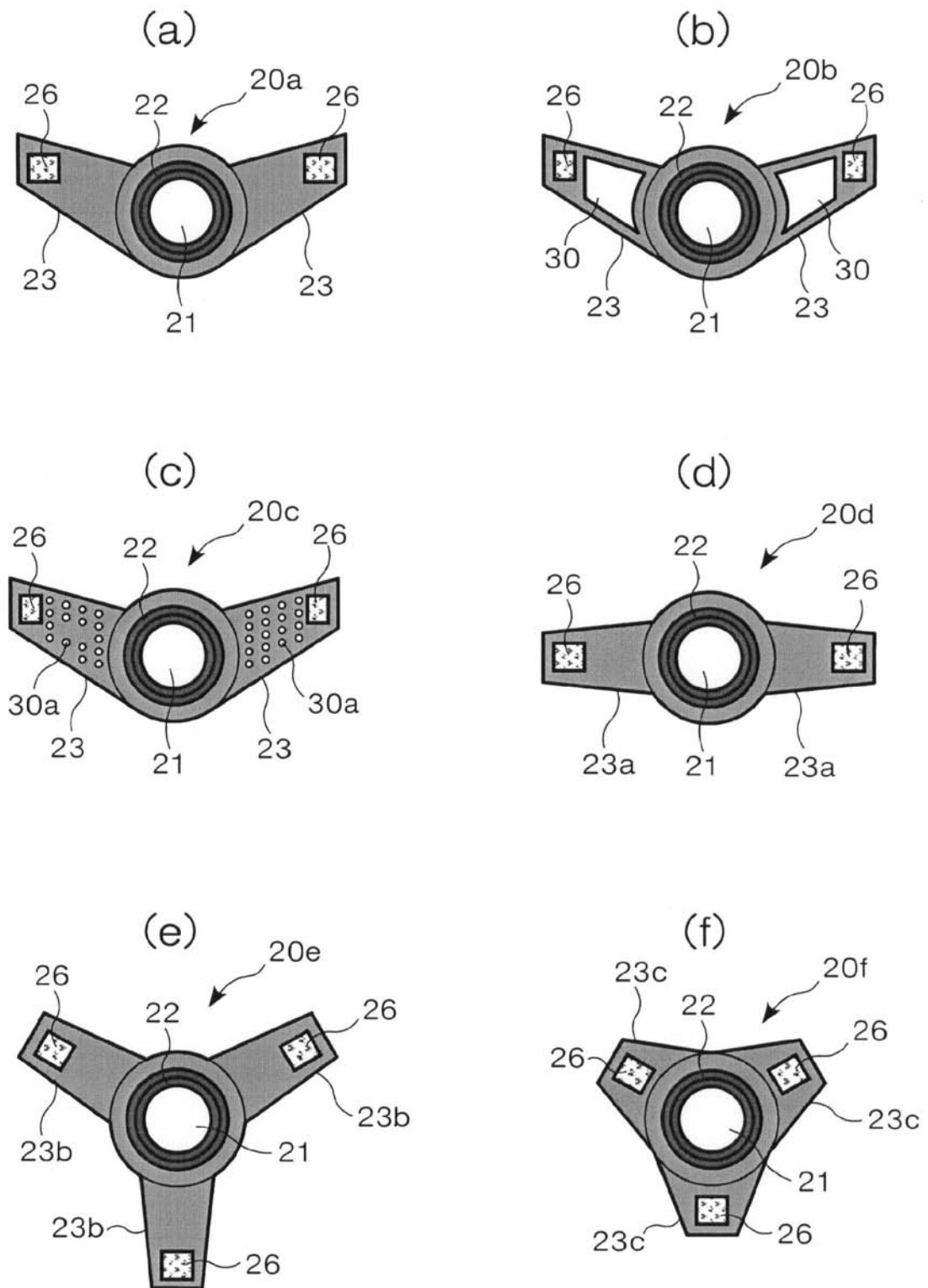


【図 16】

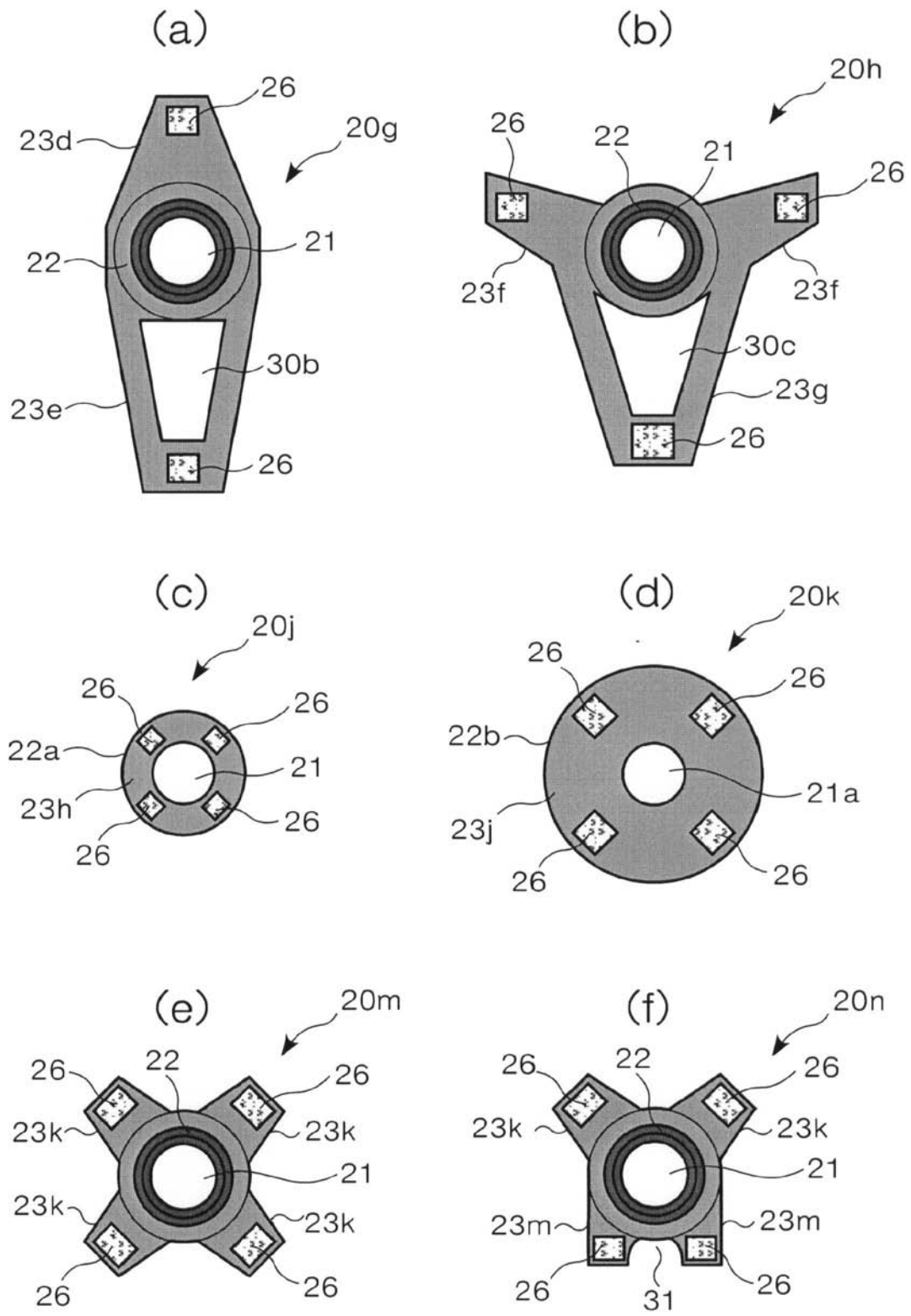
引っ掛け型Ⅱ



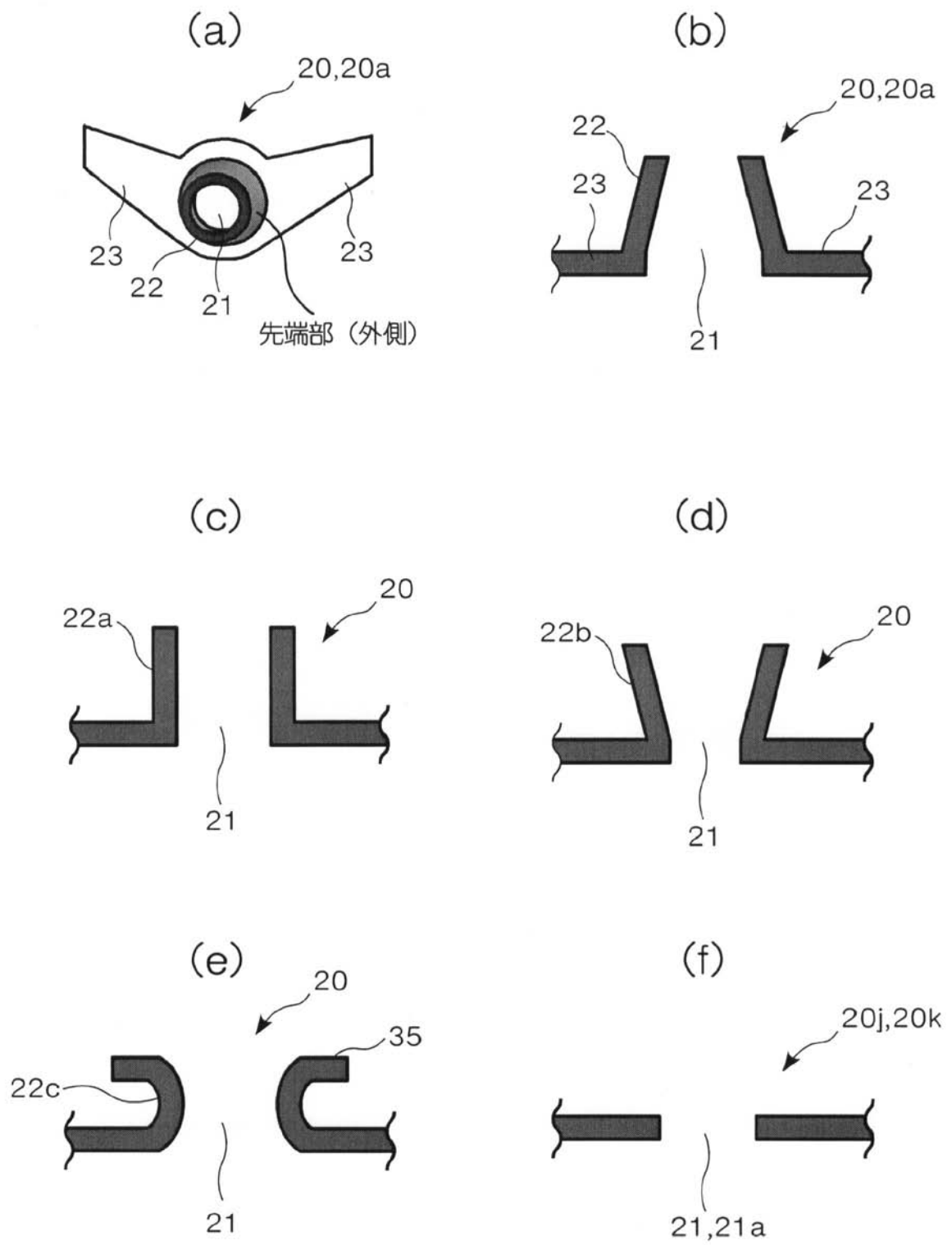
【図 17】



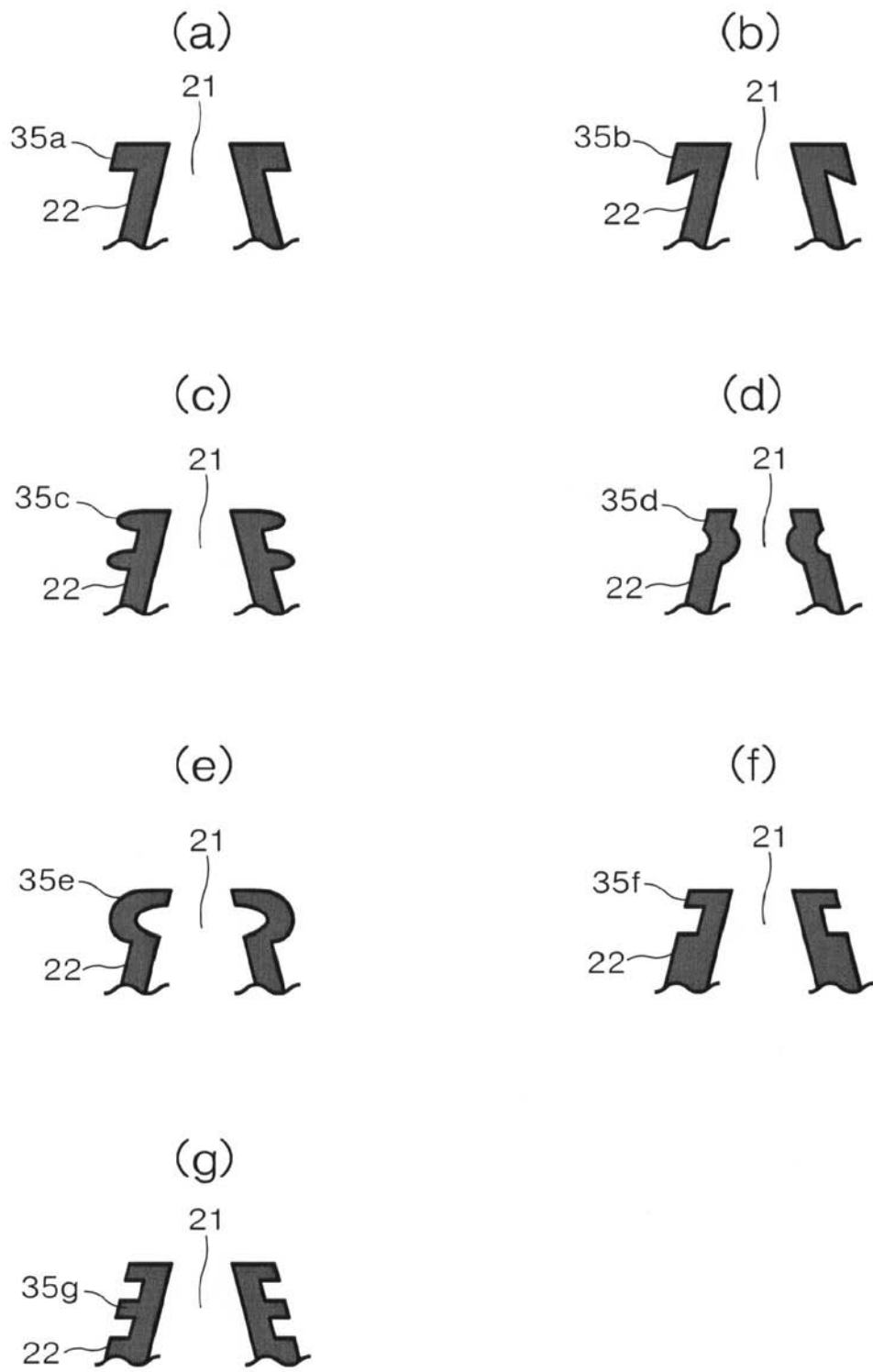
【図 18】



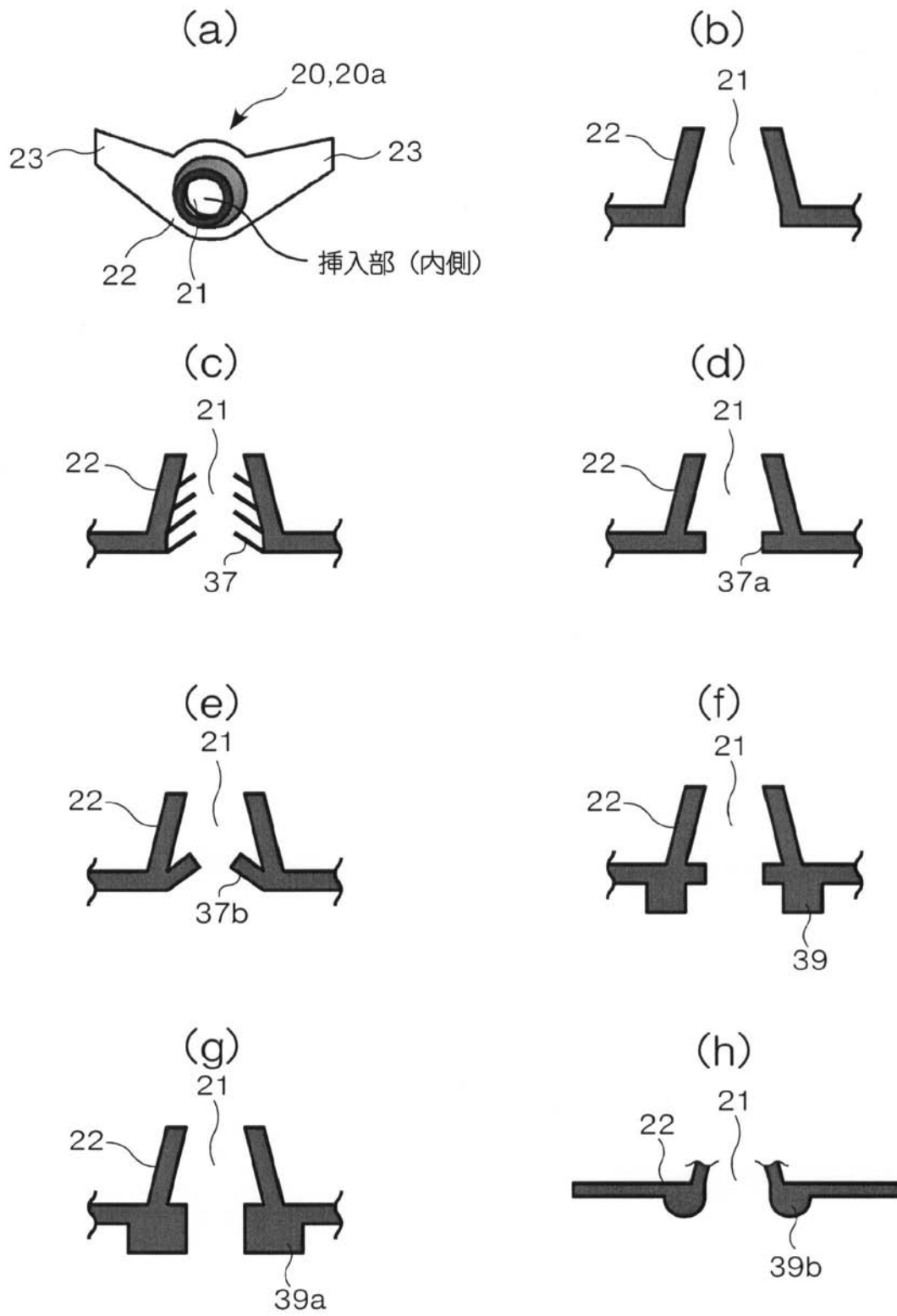
【図 19】



【図 20】

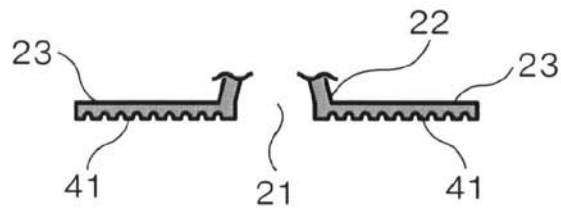


【図 2 1】

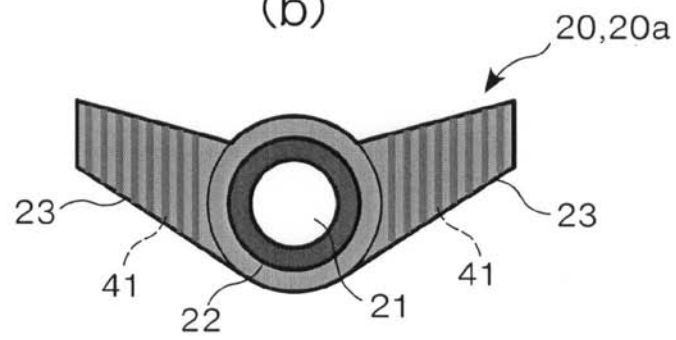


【図 2 2】

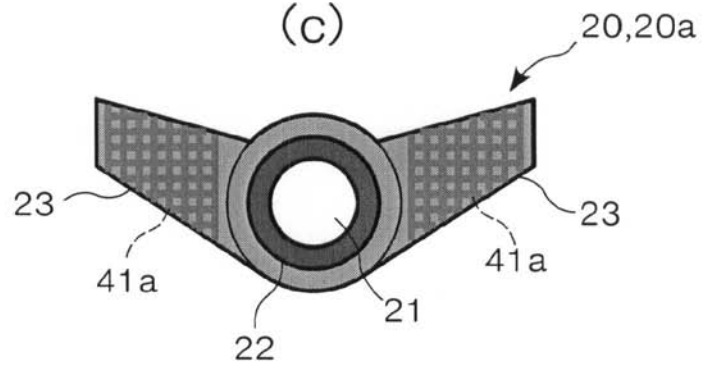
(a)



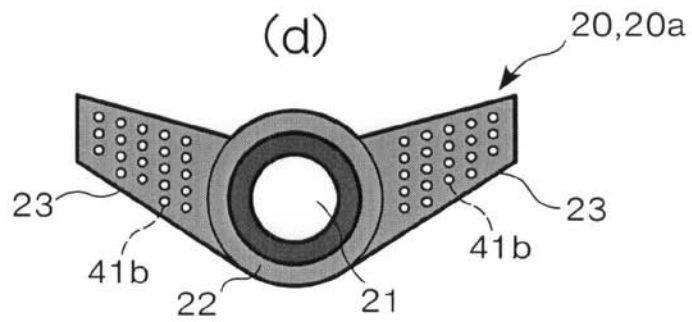
(b)



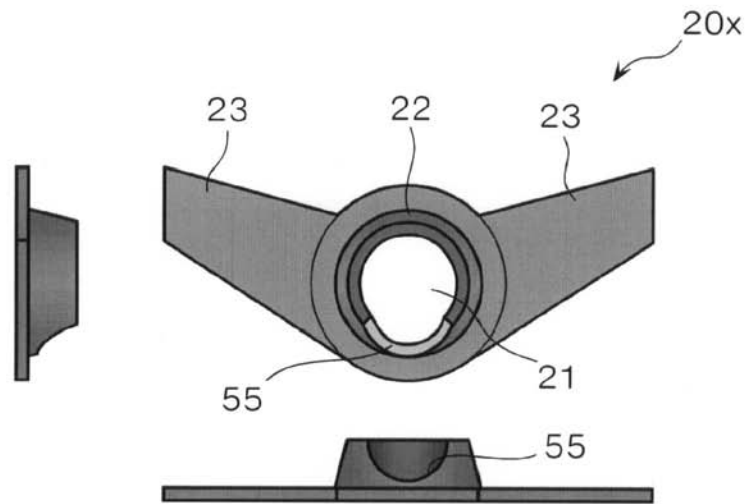
(c)



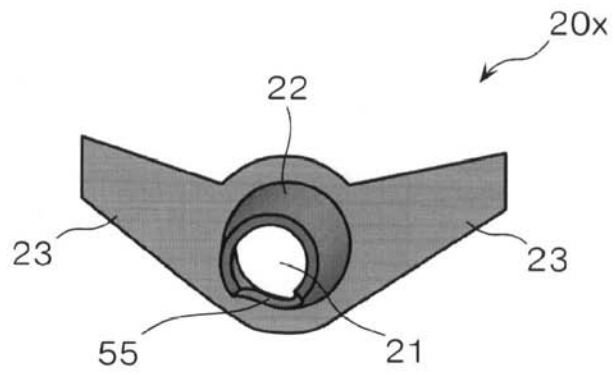
(d)



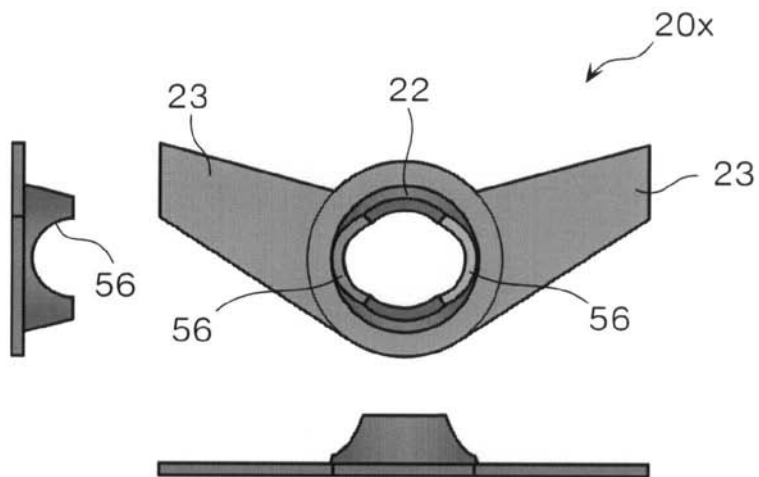
【図 2 3】



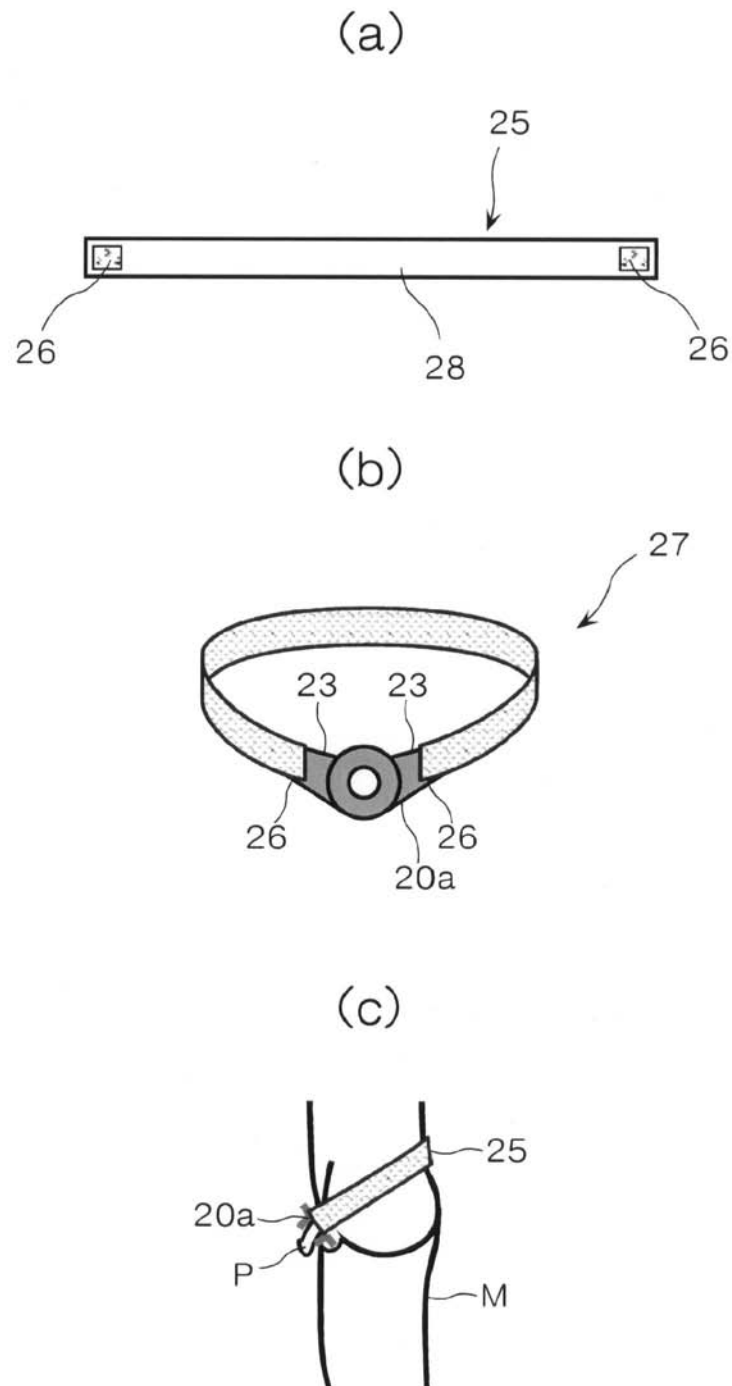
【図 2 4】



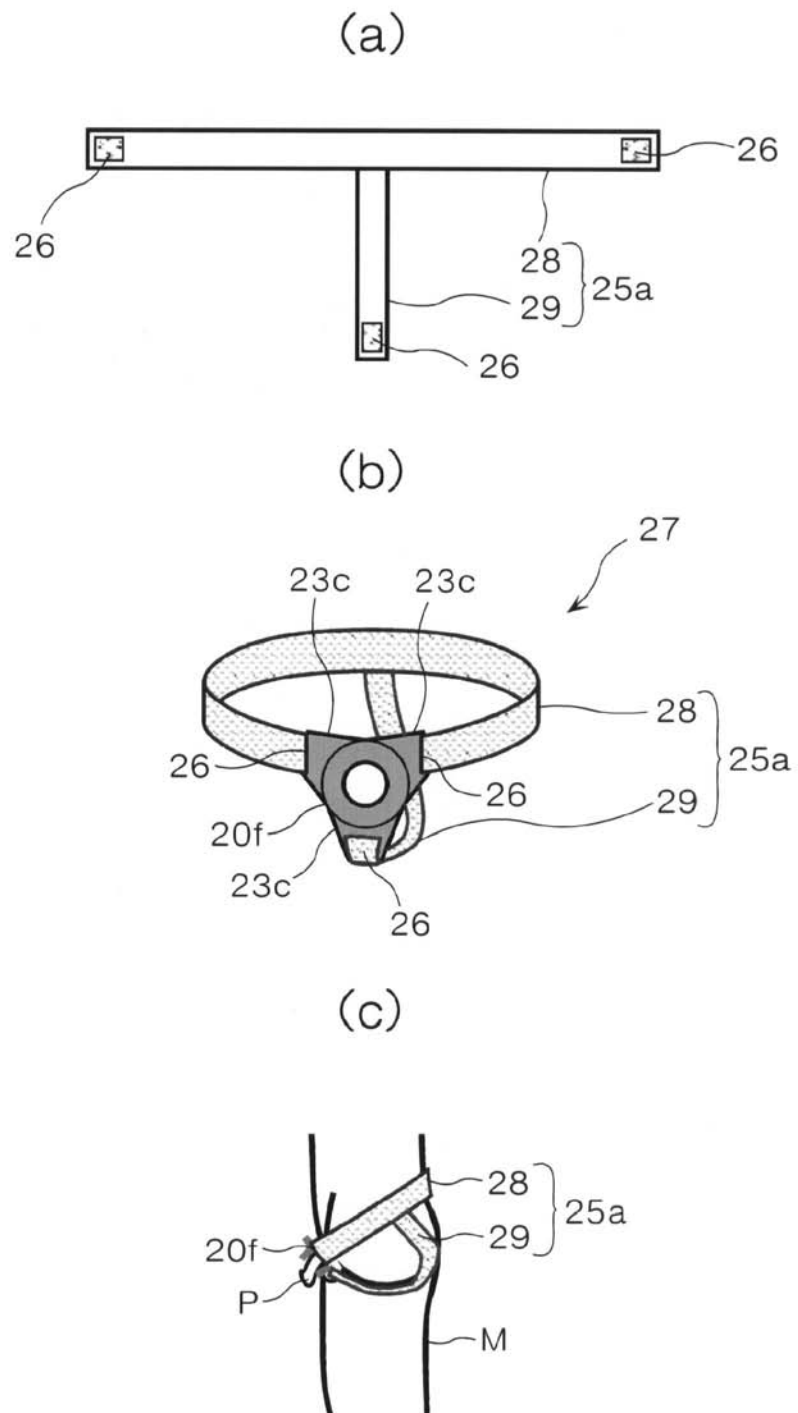
【図 2 5】



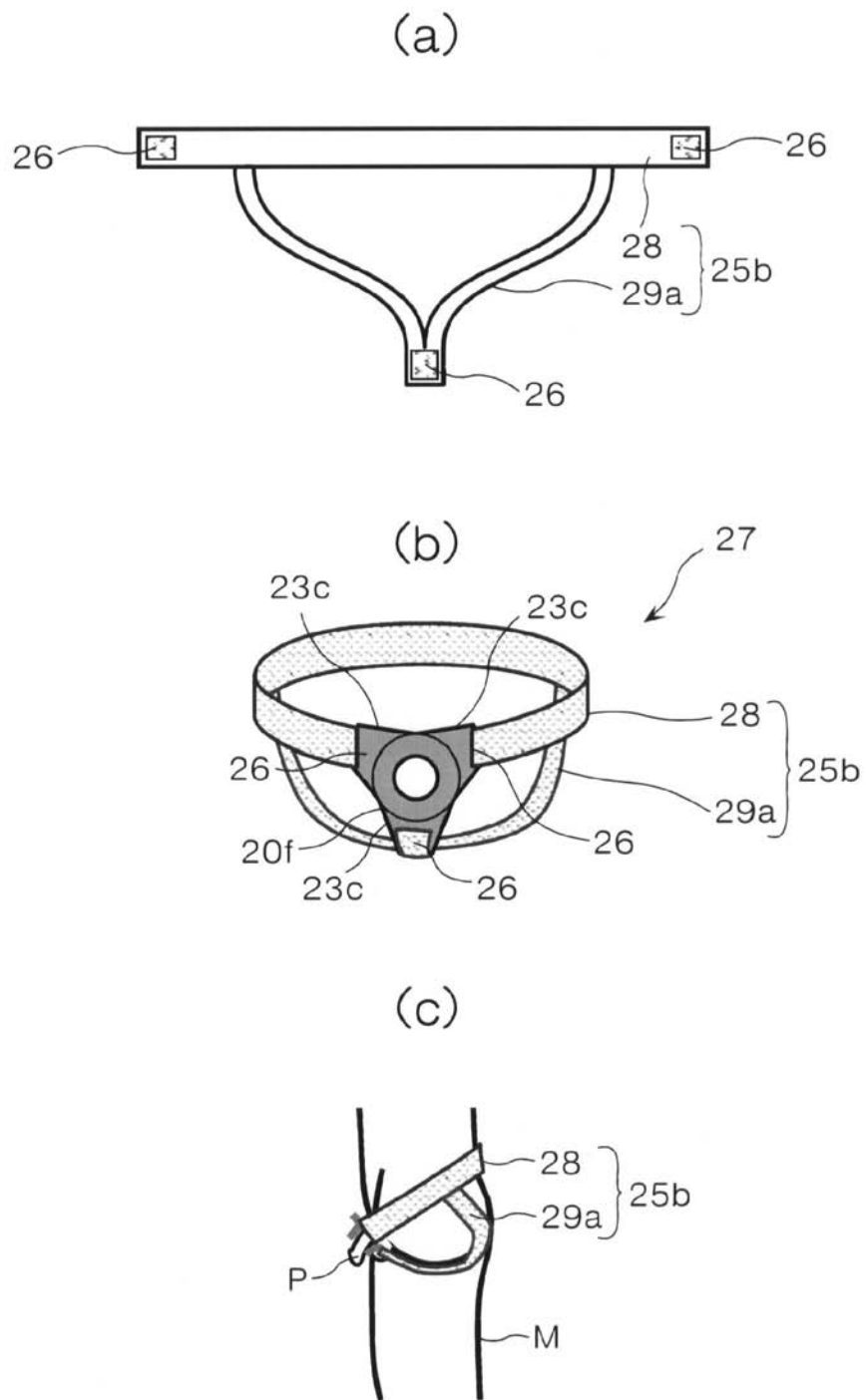
【図 27】



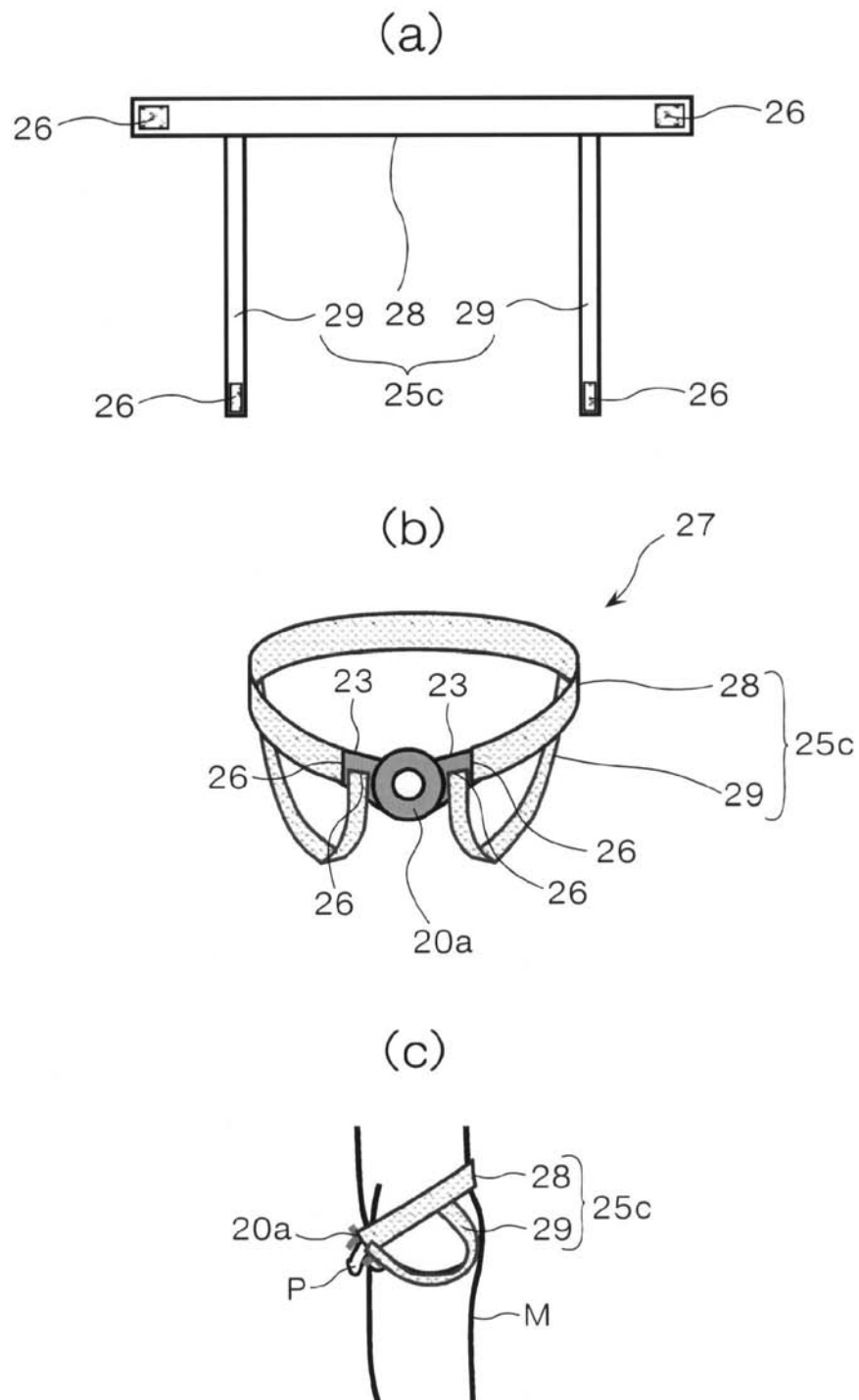
【図 28】



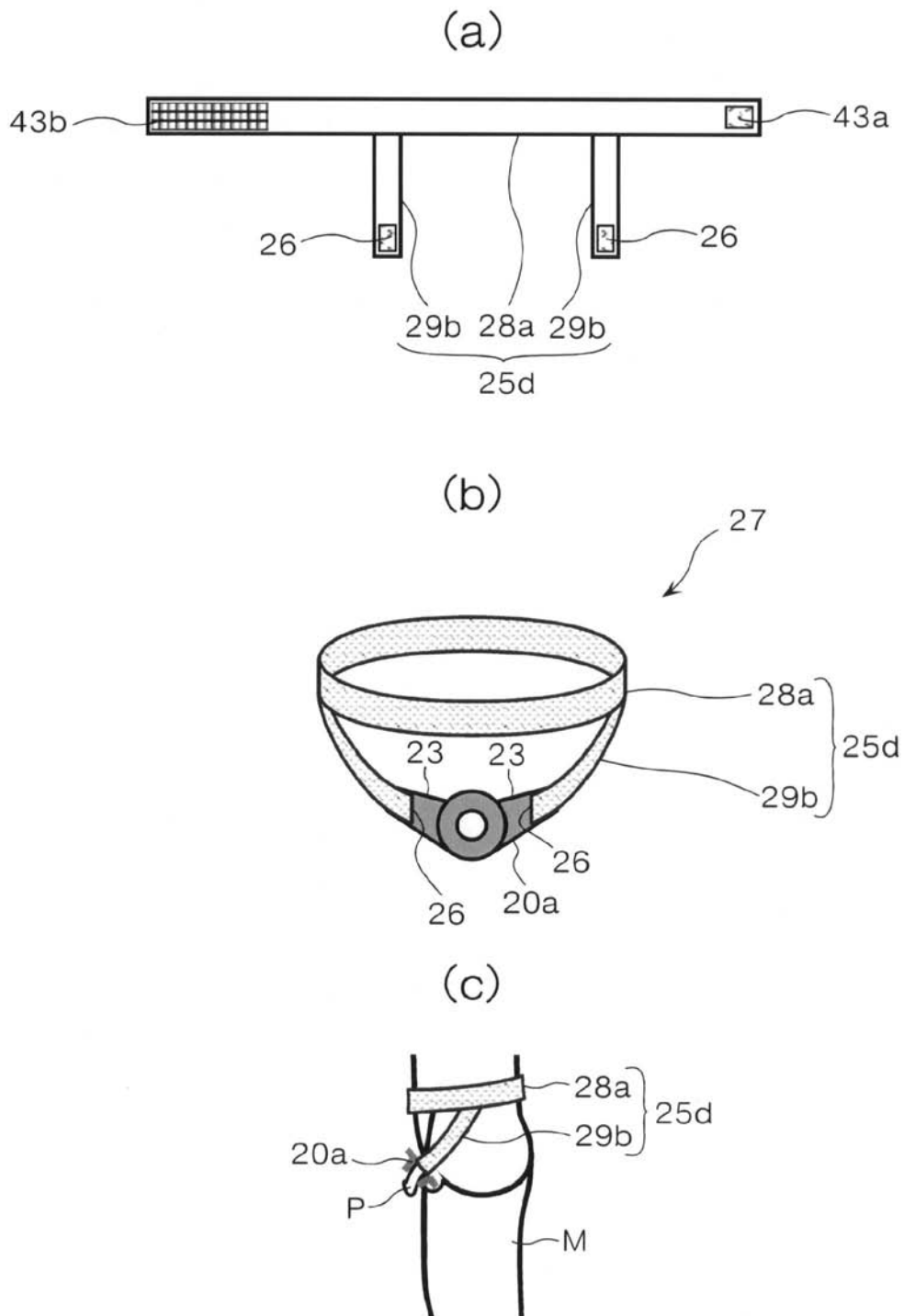
【図 29】



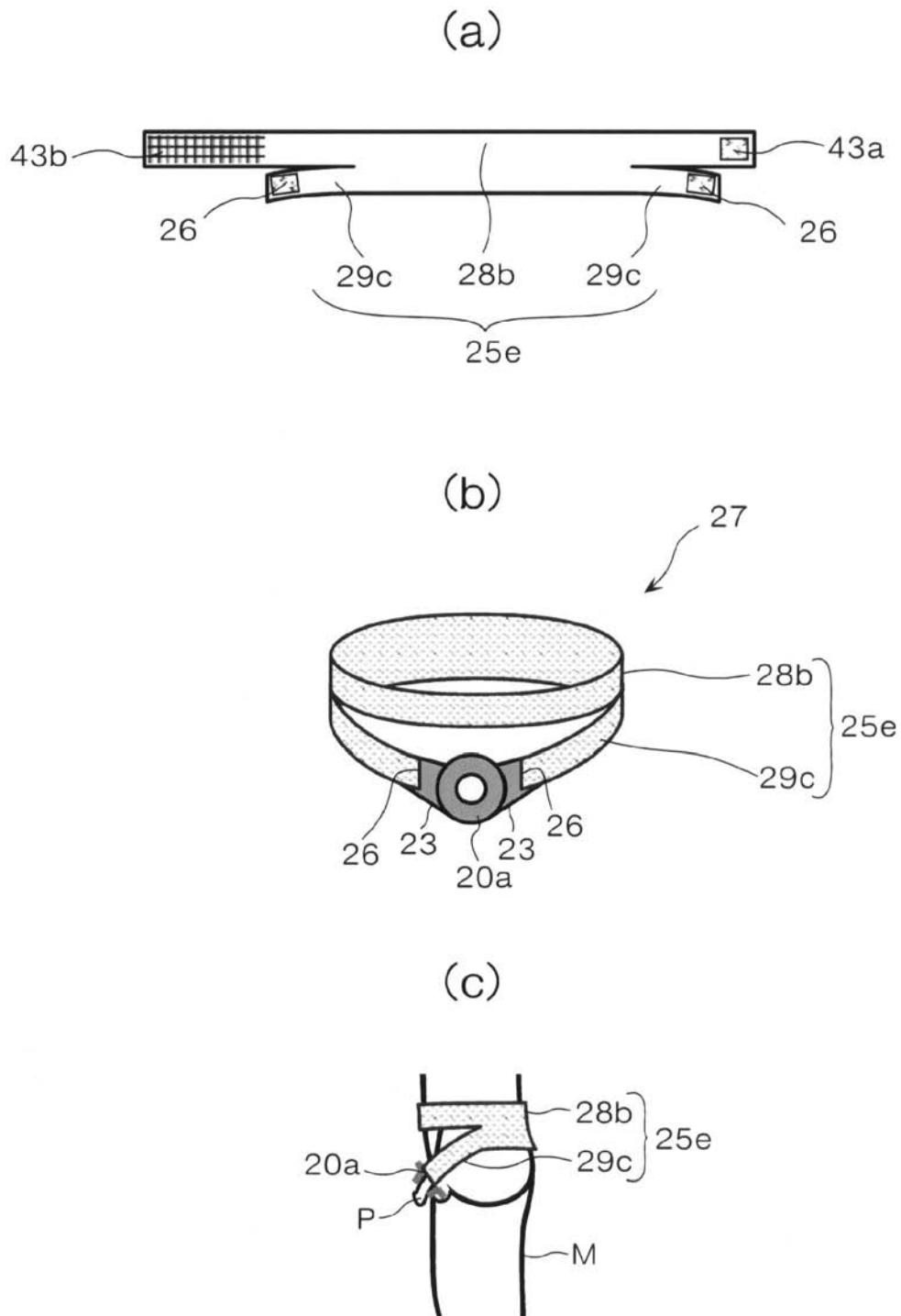
【図 30】



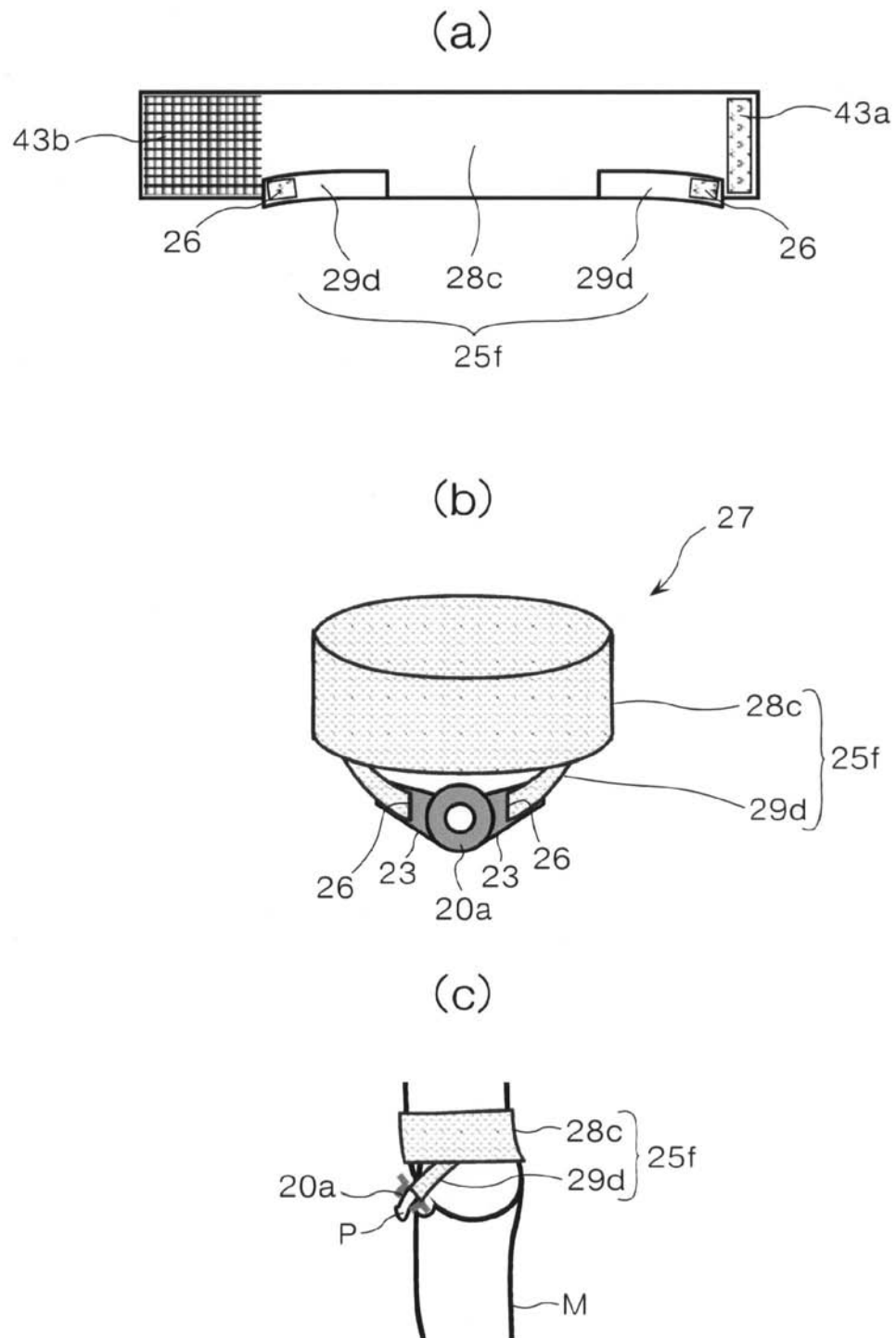
【図 3 1】



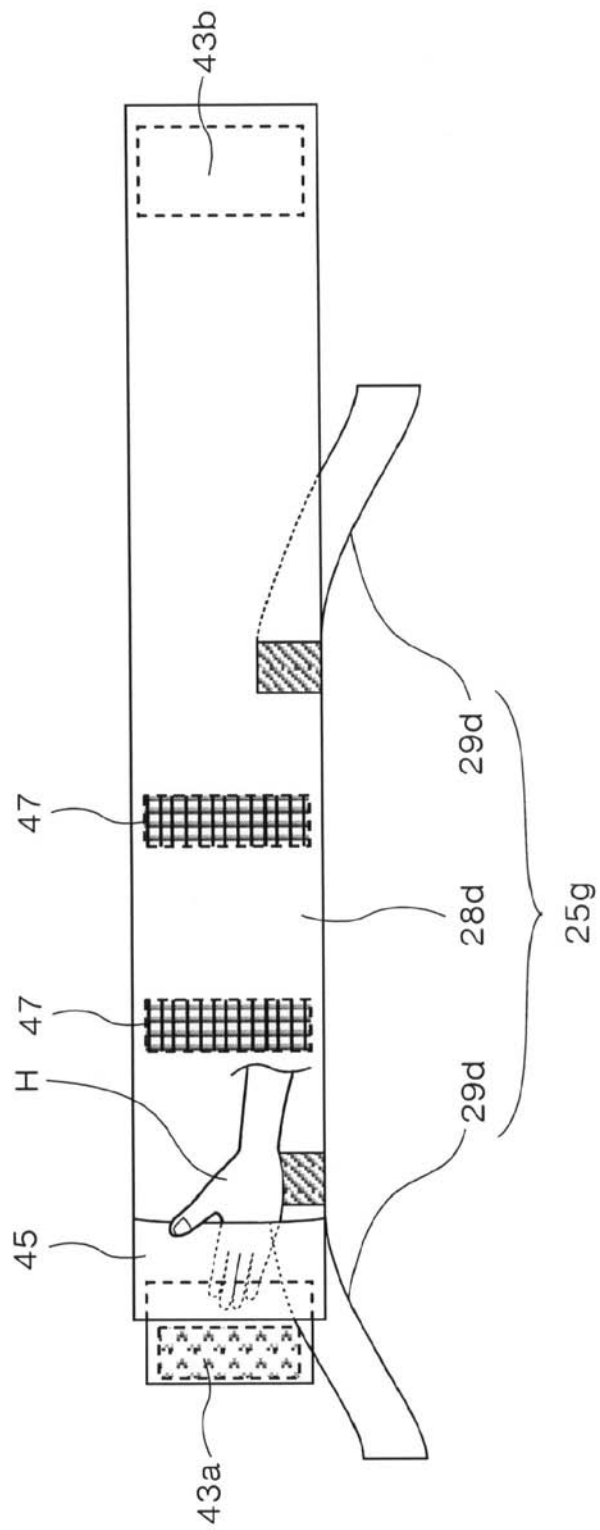
【図 3 2】



【図 3 3】

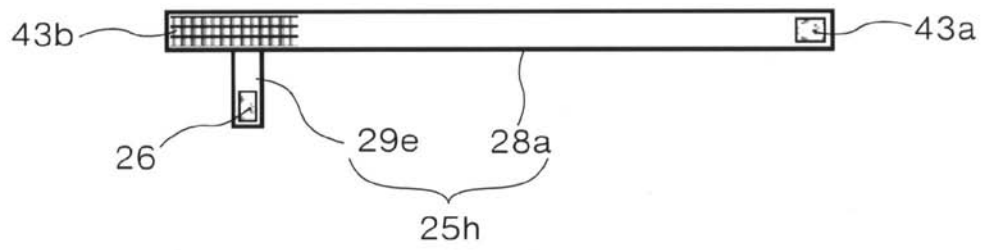


【図 3 4】

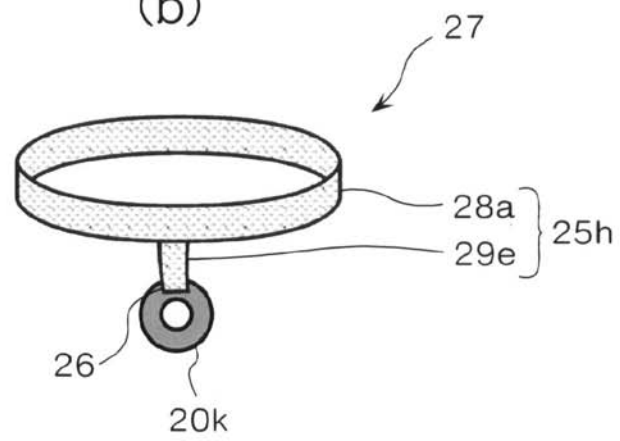


【図 3 5】

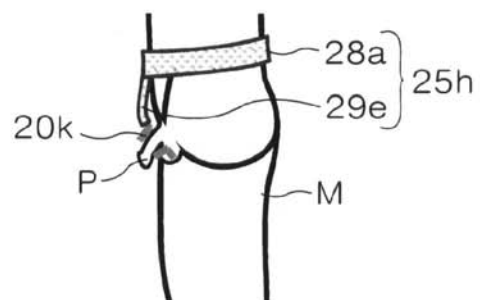
(a)



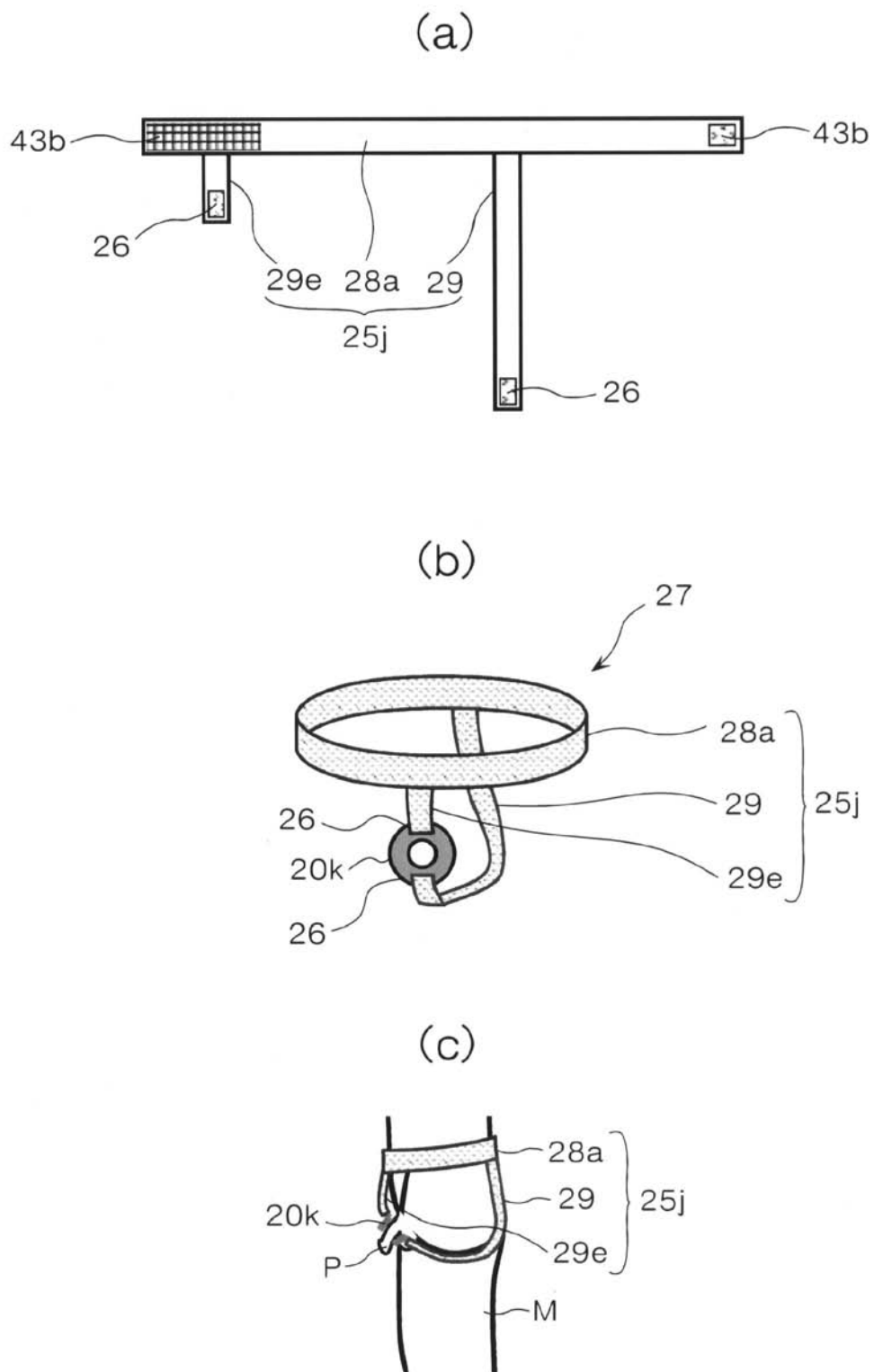
(b)



(c)

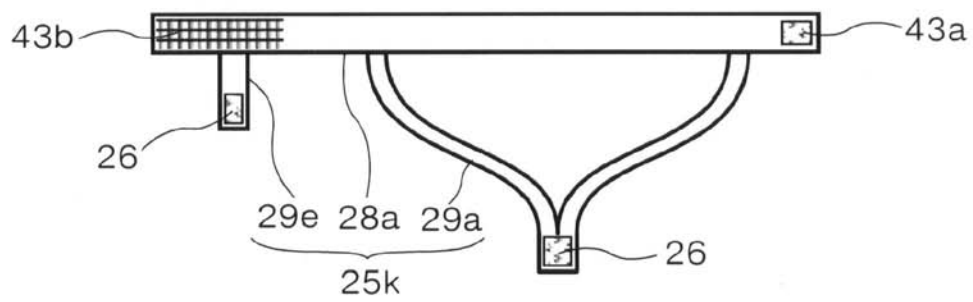


【図 3 6】

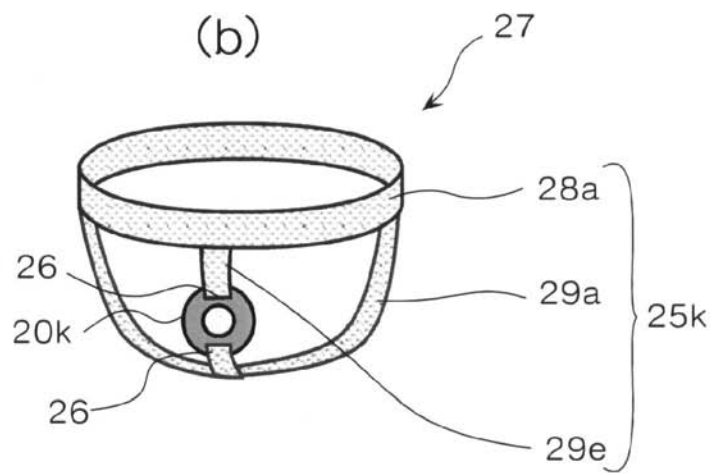


【図 37】

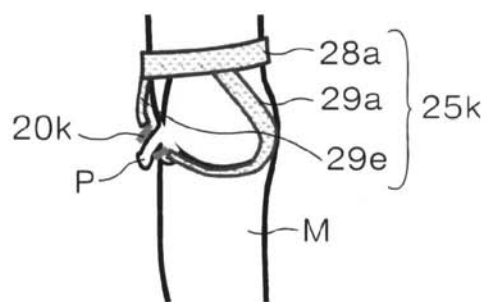
(a)



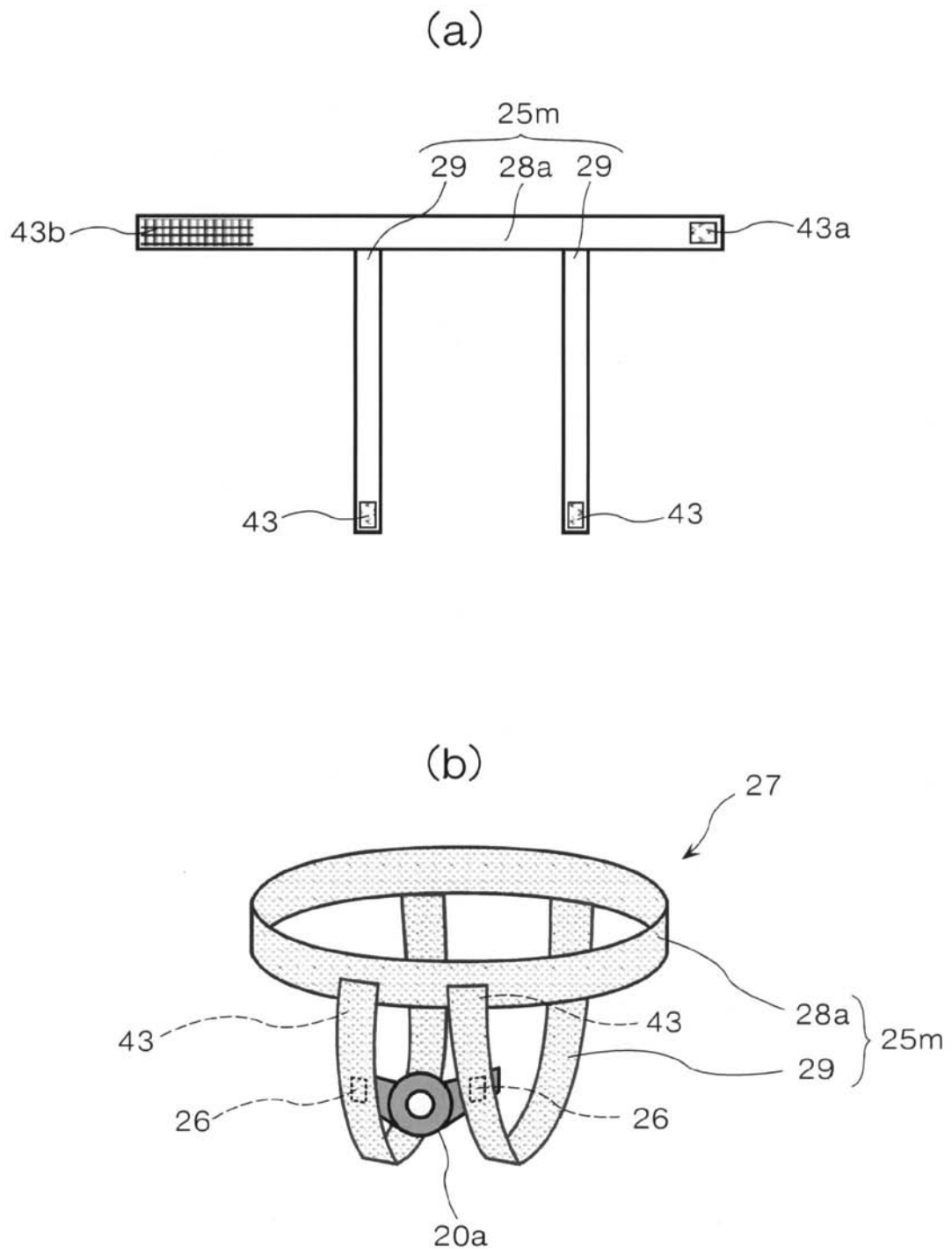
(b)



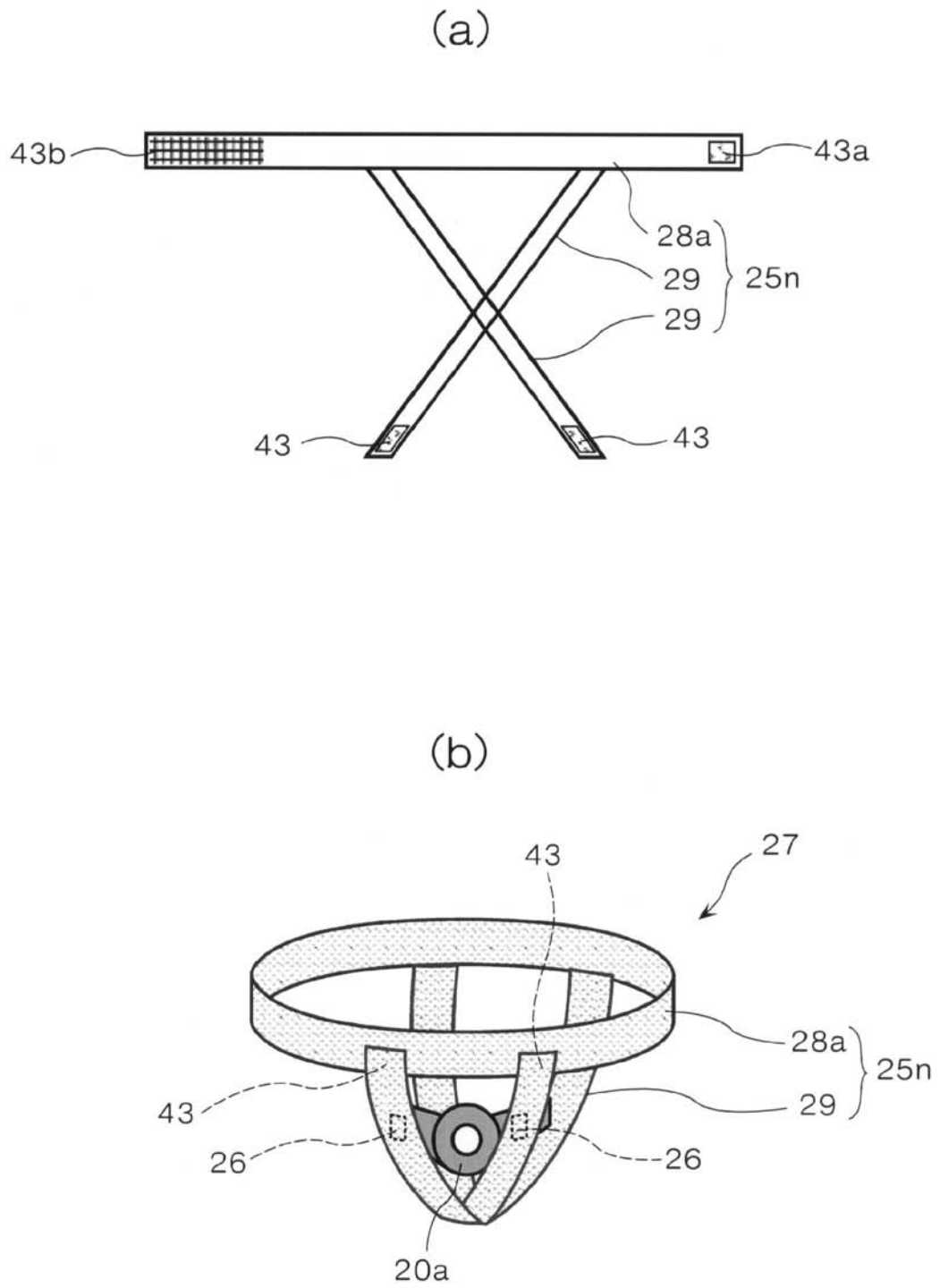
(c)



【図 38】



【図 39】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I テーマコード (参考)
A 6 1 F 13/56 (2006.01) A 6 1 F 5/44 H
A 6 1 F 5/44 (2006.01)

Fターム(参考) 3B200 AA01 AA13 AA14 BA07 BB03 BB09 BB16 CA12 CA13 DA15
DB26 DD02 DD04 DD07 DE03 DE11 DE14
4C098 CC08 CC11 CC14 CC15 CC16 CC23 CC24 CC28 CC29 CC36
CC38 CE04 CE12 CE15